

The background features three large, overlapping blue circles of varying sizes, each with a gradient from dark blue to light blue. Two thin blue lines intersect at the top left, forming a large 'V' shape that frames the text.

法医学データベースシステム ム（LMISC）SAMPLE版

インストール及びユーザーマニュアル

Ver1.0.1

2013/10/21

目次

1. 概要	3
(1) はじめに.....	3
(2) 機能.....	3
(3) 注意事項.....	3
2. 利用の準備	3
(1) 動作環境.....	3
(2) UMIN ID.....	4
(3) UMIN ID のパスワードについて	5
3. インストール.....	6
(1) 新規インストールと更新インストール	6
(2) 新規インストール	6
① プログラムのダウンロード.....	6
② ダウンロードした圧縮ファイルの解凍	8
③ セットアッププログラムの起動	11
④ 法医学教室情報の設定（初期設定）	17
⑤ ログイン画面.....	18
⑥ 起動時画面	19
⑦ システム設定画面	20
(3) 更新インストール	21
① プログラムのダウンロード.....	21
② ダウンロードした圧縮ファイルの解凍	21
4. 利用マニュアル	32
(1) データの入力.....	32
① プログラムの起動	32
② ログイン画面.....	33
③ 起動時画面	34
④ 保存されているデータの選択	35
⑤ 保存されているデータの絞り込み選択	36
⑥ 入力時の注意点.....	40
⑦ 印刷	42
⑧ 入力終了の場合	47
(2) 法医解剖一覧・死体検案一覧の印刷	50
(3) 鑑定例概要のエクセル出力.....	52
(4) データのバックアップ	58

(5) UMIN センター側のデータ確認.....	71
(1) 所属施設の登録データの確認.....	72
(2) 全施設の登録データの確認.....	76
5. 帳表印刷サンプル.....	80
(1) 死体検案書のサンプル.....	80
(2) 法医解剖一覧のサンプル.....	81
6. 変更履歴.....	82

1. 概要

(1) はじめに

本システムは「文部科学省科学研究助成（挑戦的萌芽研究）」に採択された「CDISC 標準を活用した死体検案書等の施設別及び全国集計データベースの構築」事業に従い開発された法医学データベースシステムのクライアントソフトウェア **SAMPLE 版**のマニュアルです。

オリジナル版が実際の全国集計データベースの構築を実現するものですが、本 **SAMPLE 版**は、システムの紹介や他システムへの展開への情報提供を目的として、その動作などを体験して頂く為に作成されております。

オリジナル版は利用に際して **UMIN INDCIE** パスワードが必要となりますが、本 **SAMPLE 版**は、**UMIN** 一般系パスワードにてご利用可能となっております。

本マニュアルはオリジナル版からの変更部分を一部赤字や消し線で編集し作成されています。

(2) 機能

本システムは **WindowsPC** にインストールして利用可能なアプリケーションとなっており、鑑定データを入力後 **PC** のデータベースシステムに保存することができます。

保存された鑑定データは国際標準規格の **CDISC** 標準形式で **UMIN** センターに送ることができ、これにより施設別及び全国集計データベースが構築されます。

また、鑑定データから死亡診断書や死体検案書などの書類を印刷することができます。

(3) 注意事項

本 **SAMPLE 版**はオリジナル版との排他使用になっております。本 **SAMPLE 版**はオリジナル版のプログラムの一部を置き換えることにより動作します。本 **SAMPLE 版**をインストールしてしまうとオリジナルの機能が使えなくなりますので、オリジナル版をご利用の場合は本 **SAMPLE 版**のインストールを行わないでください。

2. 利用の準備

(1) 動作環境

本システムの動作には下記の環境の PC の用意が必要です。

1. WindowsPC(マイクロソフト社製 WindowsXP や Windows 7 の OS がインストール済みで正常に動作するパソコン)
2. その PC にマイクロソフト社製オフィス 2007以降がインストールされている。
3. その PC はインターネットへ接続されていて利用可能になっている。
4. .NET Framework3.5 がインストールされていて使用可能になっている。

(2) UMIN ID

本システムは施設別及び全国集計データベースを UMIN センター INDICE システム上に構築します。

INDICE システムに蓄積されたデータを確認するには UMIN ID が必要です。

~~またその UMIN ID は INDICE システムにアクセス可能であって、更に UMIN センター側で本収集研究 (プロジェクト名: LMISC、プロジェクト番号: P00187) にアクセス許可設定されている必要が有ります。~~

~~UMIN ID をお持ちでない場合は UMIN ID の取得から行って頂き、本収集研究へのアクセスが可能なように手続きが必要です。~~

本 SAMPLE 版のご利用は UMIN ID と UMIN 一般系パスワードのみでご利用頂けません。

1. UMIN ID を取得している。
2. ~~お持ちの UMIN ID は UMIN センターの INDICE システムにアクセス可能であり、本収集研究 (プロジェクト名: LMISC、プロジェクト番号: P00187) に UMIN センター側にてアクセス許可設定がされている。~~

(3) UMIN ID のパスワードについて

UMIN センターのサービスを利用するための UMIN ID にはパスワードが2種類あります。

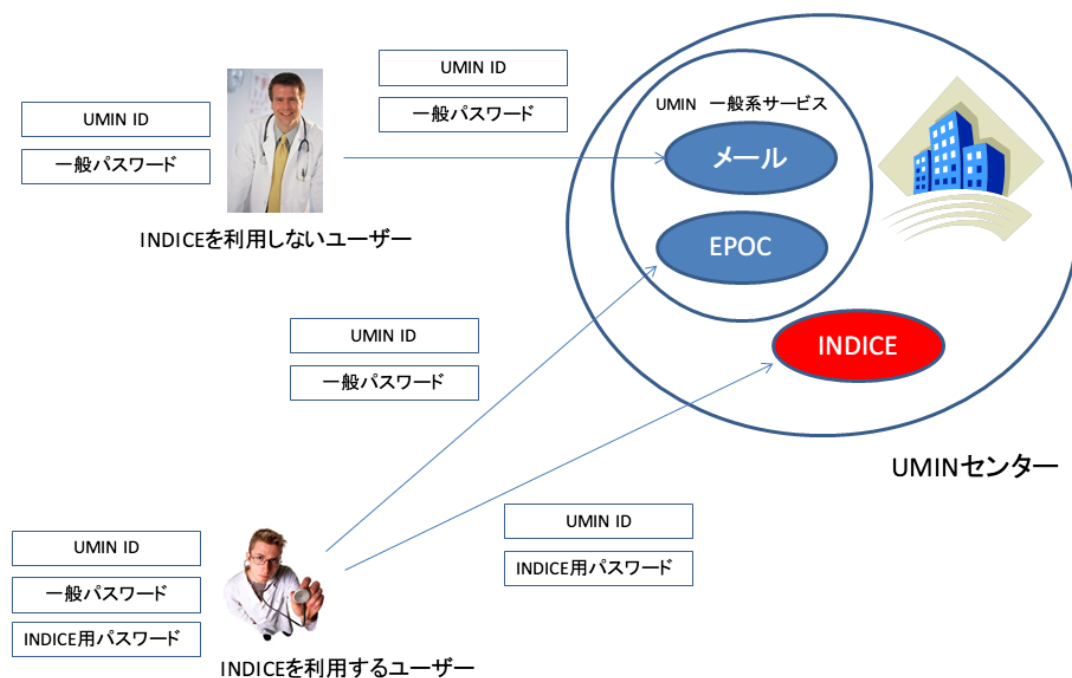
1つの UMIN ID に対して利用するサービスによって2通りのパスワードが発行されます。

UMIN センターの INDICE 以外のサービス (メールやオンライン研修評価システム (EPOC) など) を利用するための一般パスワードと、INDICE を利用するためのパスワードです。

- 一般パスワード： メールなどを使用する場合。
- INDICE 用パスワード： INDICE システムを利用する場合

INDICE のみご利用の場合でもパスワードは2個発行されます。

UMINセンターのサービスとパスワードの関係図



3. インストール

(1) 新規インストールと更新インストール

LMISCSAMPLE 版のインストールには新規インストールと更新インストールの2通りがあります。

新規インストールと更新インストールでは方法が異なります。

新規インストールは、インストールしようとしている PC で LMISCSAMPLE 版がまだインストールされていない場合に行います。

更新インストールはインストールしようとしている PC に既に LMISCSAMPLE 版がインストールされている場合に行います。

新規インストールか更新インストールのどちらかひとつを行ってください。

- ・初めてのインストールの場合： 新規インストール手順で行い、
続いて更新インストールも行う。
- ・既にインストール済の場合： 更新インストール手順で行う。

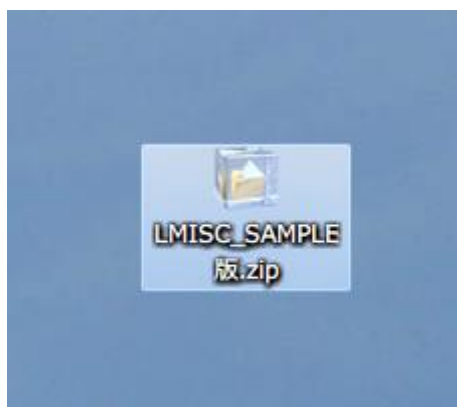
(2) 新規インストール

① プログラムのダウンロード

UMIN センターから「法医学データベースシステム SAMPLE 版」を WindowsPC のデスクトップにダウンロードします。

なお、ダウンロードのファイル名などは下記の例より変更になる場合があります。

(ダウンロードしたところ)



② ダウンロードした圧縮ファイルの解凍

ダウンロードした圧縮ファイルをダブルクリックします。

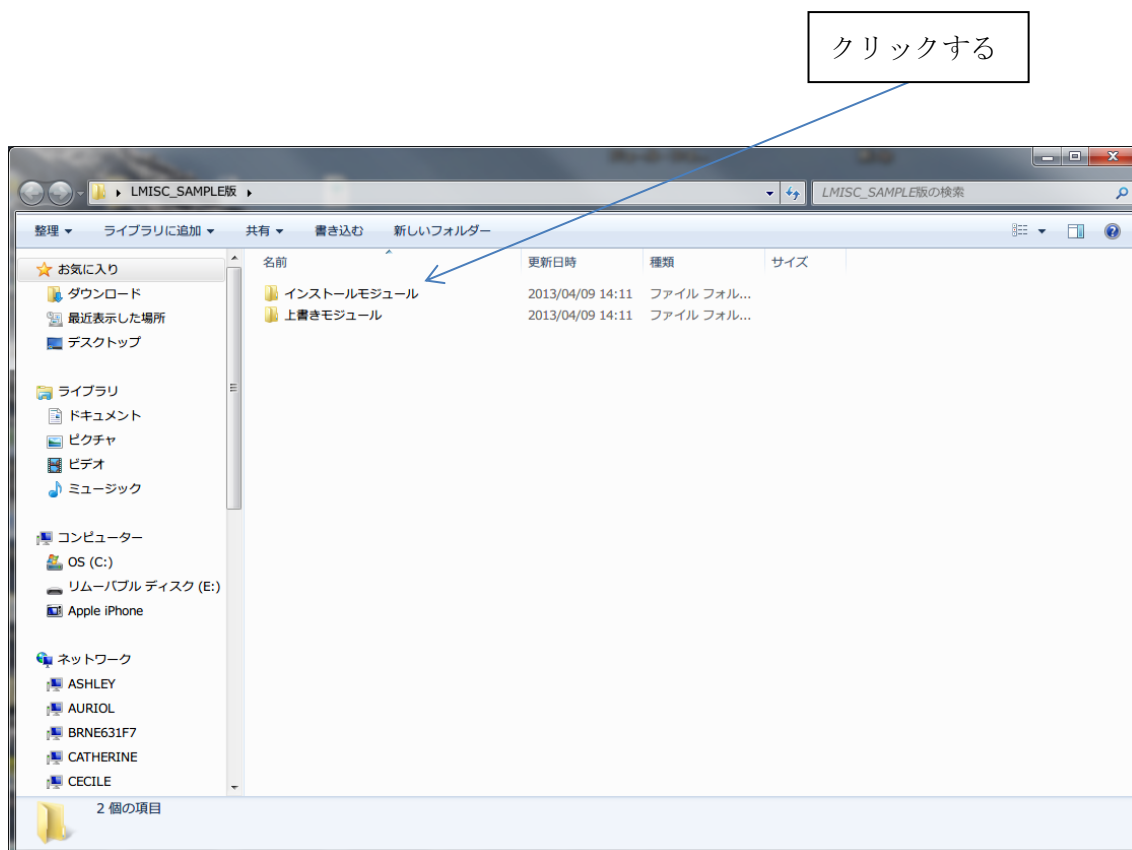
下記の画面の例のように自動で解凍が始まります。



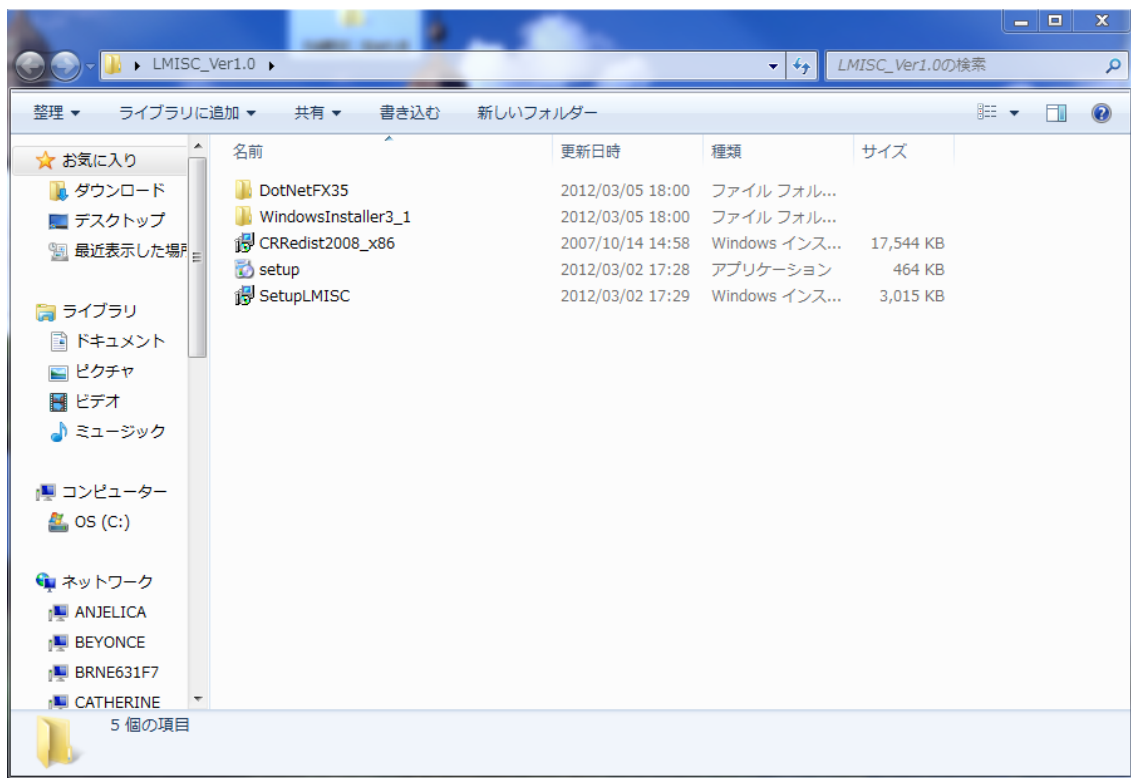
解凍が終了すると下記の例のように解凍後のフォルダーが自動で開きます。

(解凍後、フォルダーが自動で開いたところの画面の例)

「インストールモジュール」をクリックする。



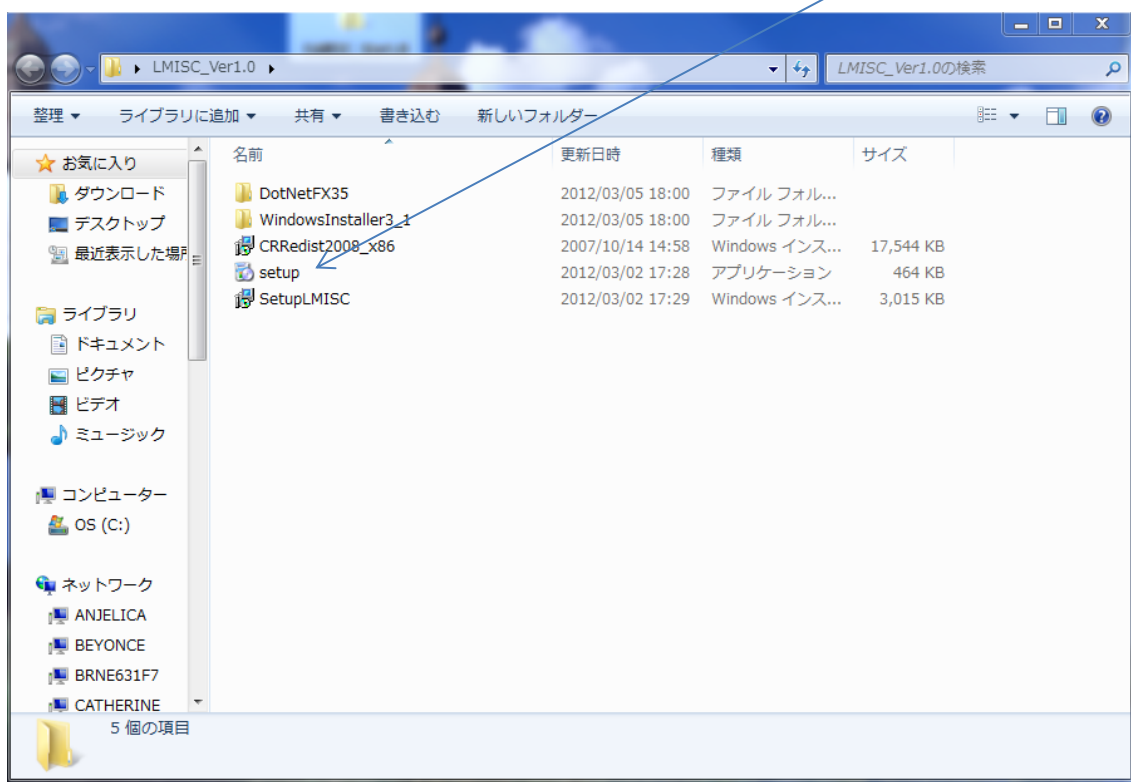
下記の画面になります。



③ セットアッププログラムの起動

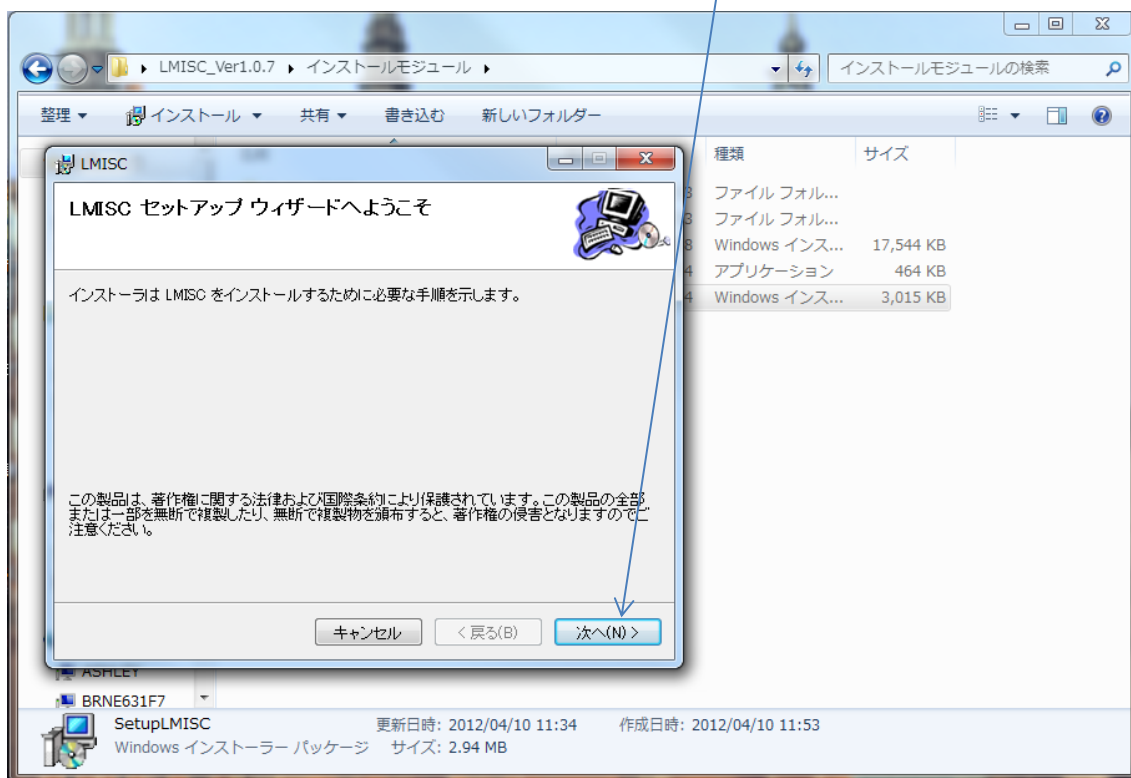
下記の「setup」をクリックして起動する。

クリックして起動する



「setup」を起動すると下記の「LMISC セットアップウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

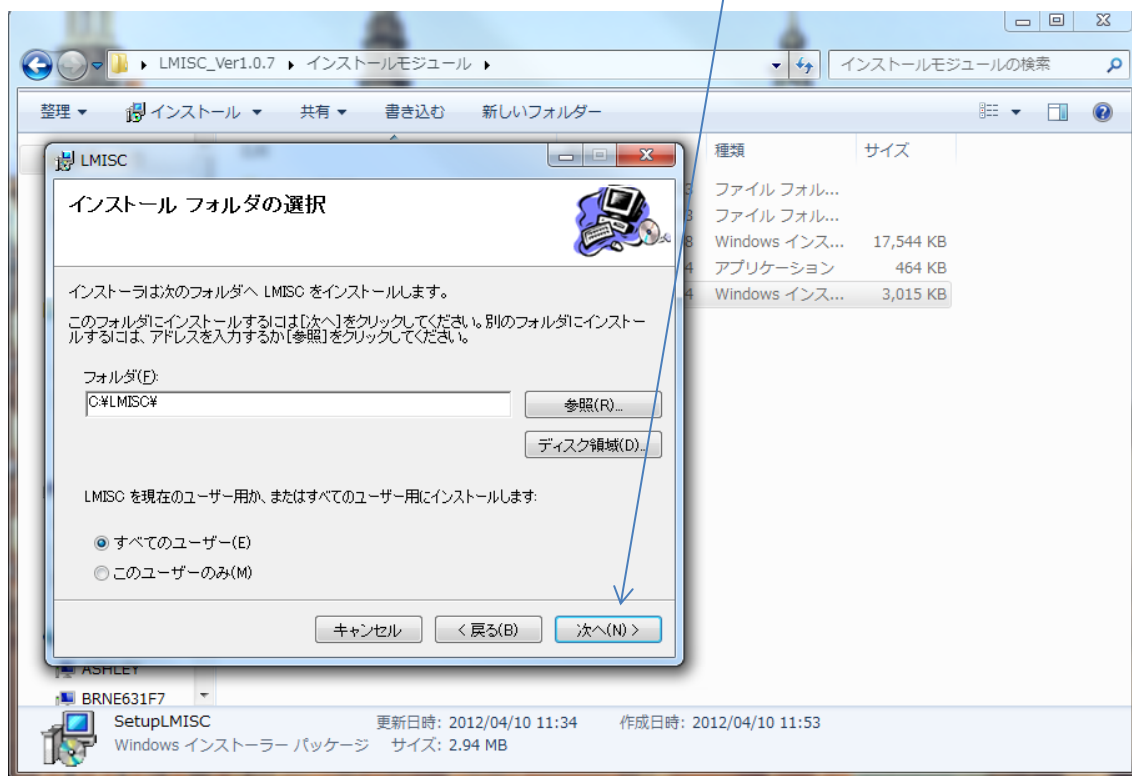
「次へ」をクリックする



下記の画面に遷移します。

このまま「次へ」をクリックします。

「次へ」をクリックする

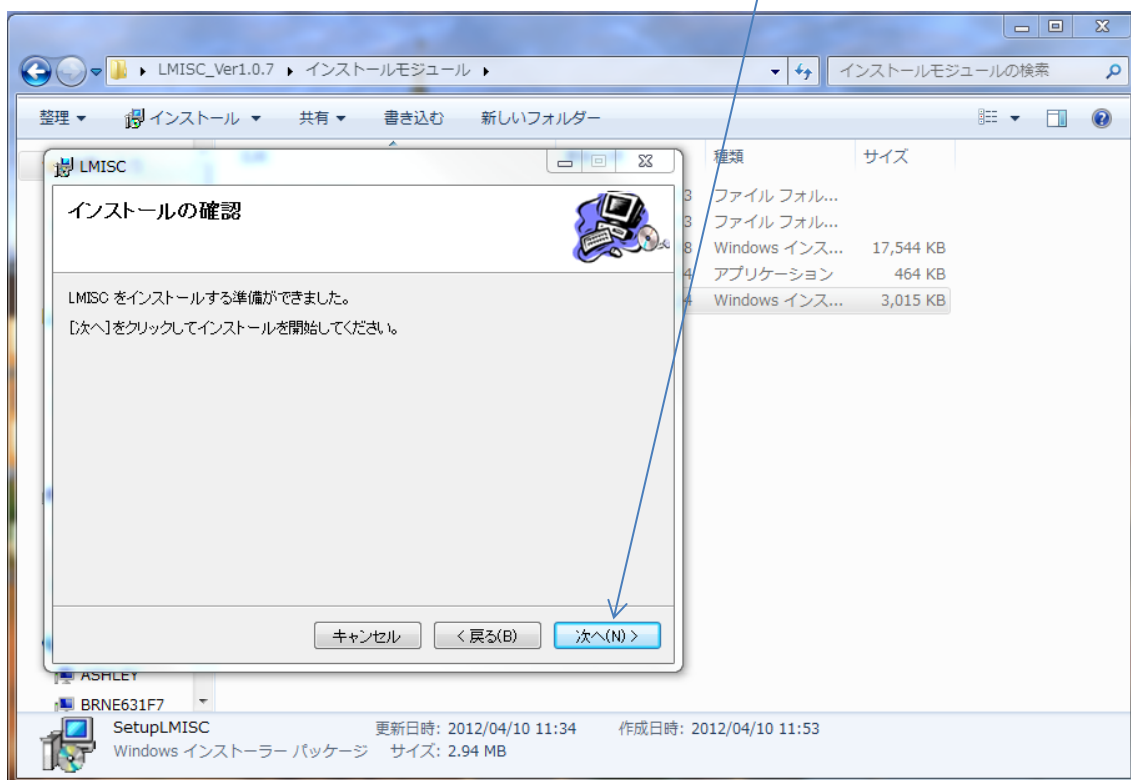


下記の画面に遷移します。

「次へ」をクリックします。

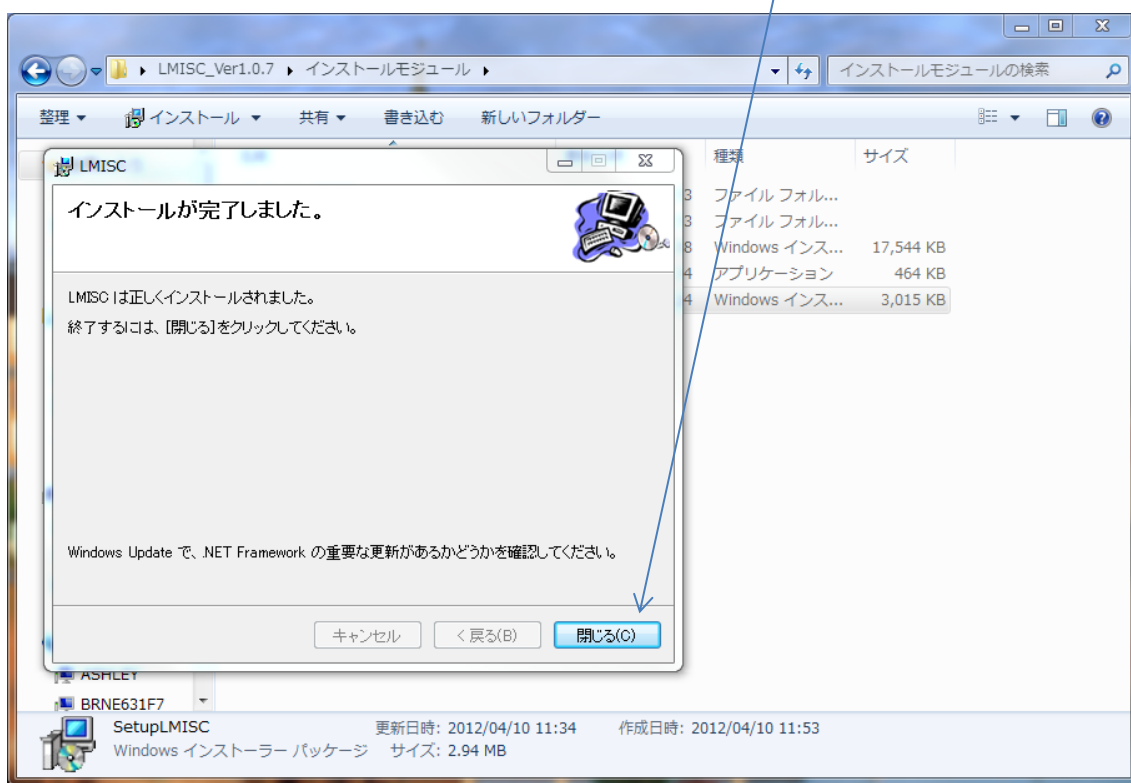
なお、「次へ」をクリックすると「ユーザーアカウント制御」から確認のメッセージが表示される場合がありますが、そのまま了承して下さい。（「はい」をクリックする）

「次へ」をクリックする



下記の画面が表示されますので「閉じる」をクリックして下さい。

「閉じる」をクリックする



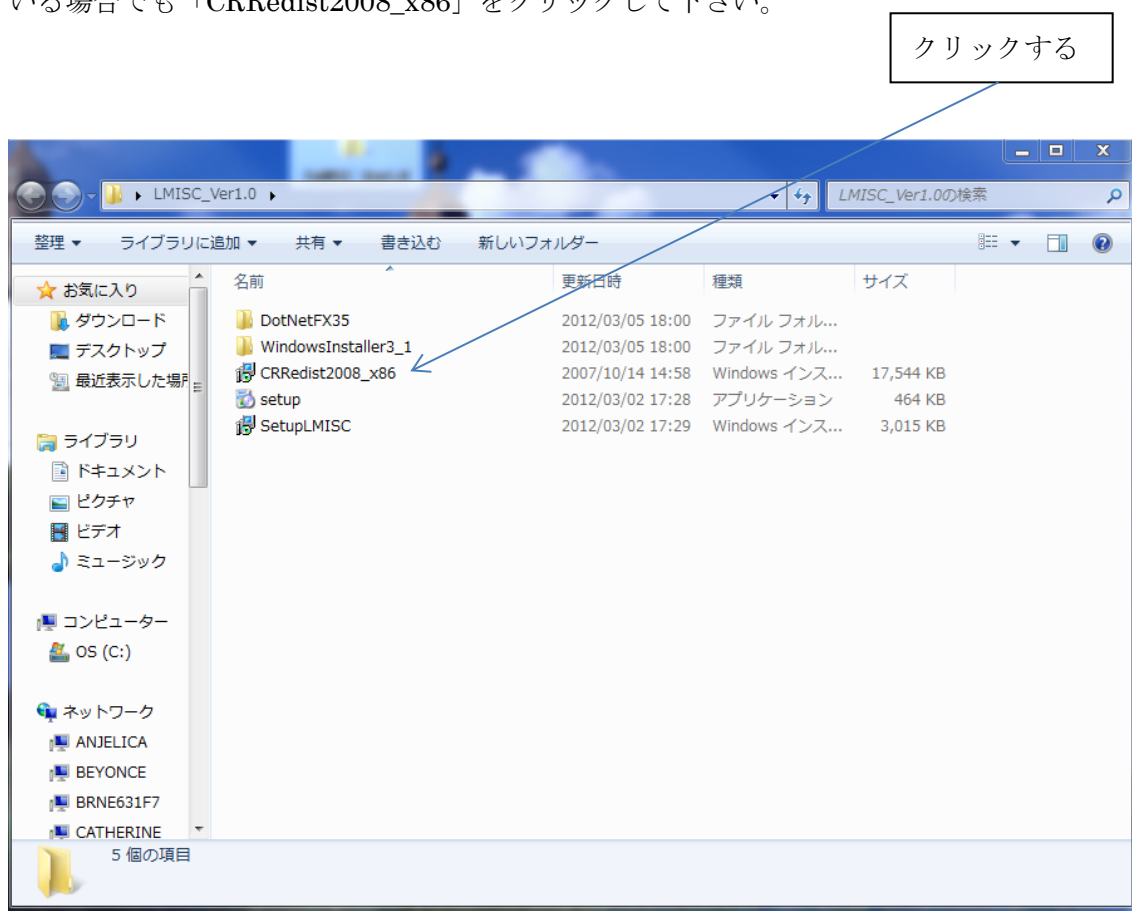
続いてクリスタルレポートをインストールします。

法医学データベースシステムは鑑定例概要などの帳表印刷にクリスタルレポートシステムを使用しています。

これら帳表の印刷にはクリスタルレポートのインストールが必要になります。

「CRRedist2008_x86」をクリックします。

※「CRRedist2008_x86」は本来 32bit システム用ですが Windows の 64bit 版を使用している場合でも「CRRedist2008_x86」をクリックして下さい。



「ユーザーアカウント制御」からメッセージが表示されることがありますが、そのまま了承して下さい。

~~クリスタルレポートのインストールが終了したら「新規インストール」は終了です。~~

この後、必ず更新インストールの処理を実施して下さい。

④ 法医学教室情報の設定（初期設定）

初めてお使いになるときには法医学データベースシステムに法医学教室の情報を設定する必要があります。

デスクトップ上にある黄色いアイコン「法医学 UMIN」をマウスでダブルクリックします。

「LMISC」をダブルクリックする

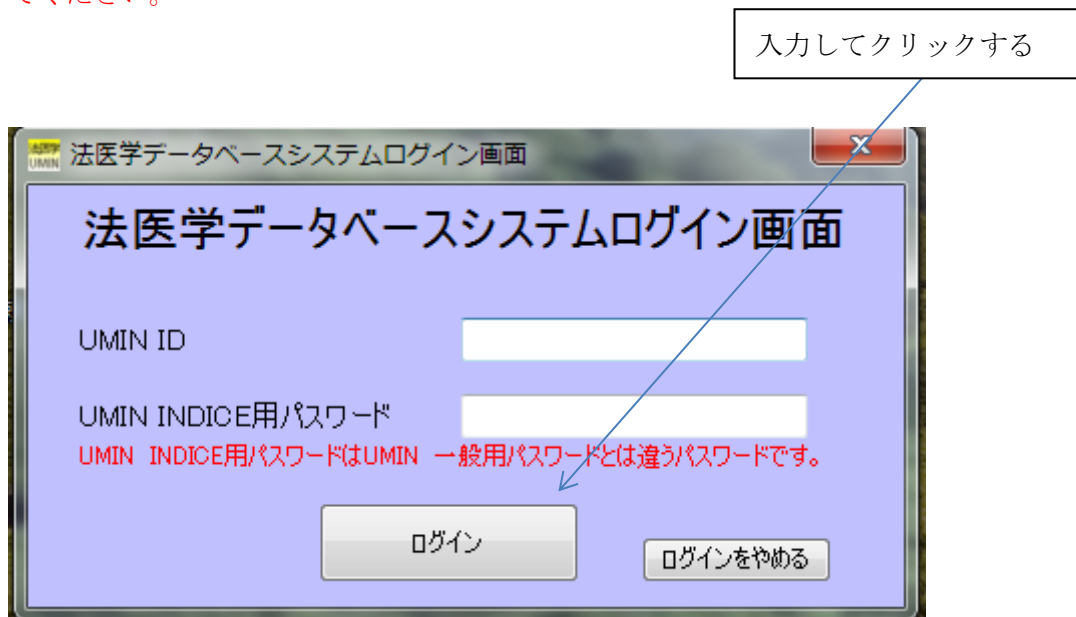


⑤ ログイン画面

法医学データベースシステムを起動させるとログイン画面が表示されます。

UMIN ID と UMIN ~~INDICE~~一般系用パスワードを入力「ログイン」ボタンをクリックします。

画面では UMIN INDICE 用パスワードとなっておりますが、一般系パスワードを入力してください。



⑥ 起動時画面

ID とパスワードが入力されると法医学データベースシステムは UMIN センター INDICE システムと通信して、入力された ID とパスワードが正しいか確認します。

センターとの通信結果によりシステムが ID とパスワードが正しいと確認できると下記の様な起動時初期画面になります。

保存されている鑑定データなどによって起動時の画面イメージは下記サンプルと異なります。

この画面の右下の「設定データ変更」ボタンを押します。

「設定データ変更」ボタンを押す

法医学データベース起動画面

終了

新規鑑定入力

表示順切り替え
 上から最新順 上から古い順(最新は下へ表示されます)

保存されている鑑定データの呼び出し
 保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータを呼び出せます。

鑑定番号1	鑑定番号2	被験者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(A)直接死因
0059			一時	2012/02/03 10:21:26	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0058	XX99	E05300000003	確定	2012/02/06 10:39:34	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0057		E05300000002	確定	2012/02/06 10:39:27	平井 花子	鈴木 一郎	心不全
0056		E05300000001	確定	2012/02/06 10:39:21	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男	山田 太郎	出血性ショック
0054			一時	2012/02/02 16:10:48	香山 四女	鈴木 次郎	術後肺炎
0053			一時	2012/02/02 16:10:28	井上 三男	鈴木 次郎	肝不全
0052			一時	2012/02/02 16:11:07	斎藤 二女	鈴木 一郎	胃山門部乳頭状腺癌
0051			一時	2011/12/28 16:12:22	佐藤 一男	山田 太郎	敗血症性ショック

法医学解剖一覧・死体検案一覧印刷 (医師の選択)

期間 平成19年 4月11日 から 平成24年 4月11日 まで

法医学解剖一覧印刷 死体検案一覧印刷

鑑定例概要エクセル出力

鑑定例概要のエクセル出力

保存されているデータのエクセル出力

保存されているデータのエクセル出力

管理者用

UMINセンターへのデータ送画面へ

過去データの取り込み

設定データ変更

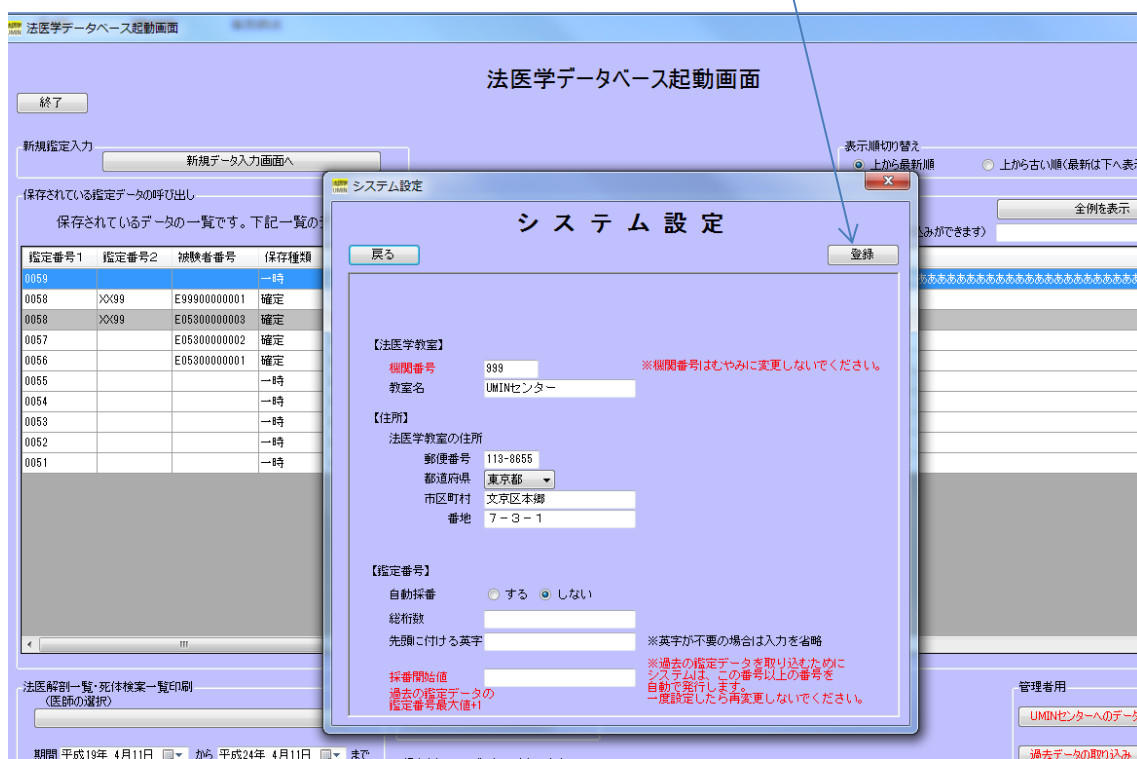
⑦ システム設定画面

下記の画面より法医学データベースシステムが設置される法医学教室情報を入力します。新規でインストールした場合の初期情報は UMIN センターのダミー情報が入力されています。

このままのデータでお使いになるのではなく、正しい法医学教室情報に更新してお使いください。

入力後は「登録」ボタンを押して保存後終了します。

「登録」ボタンで保存、終了



本システムは鑑定番号の自動採番機能（自動で番号を繰り上げて発行する機能）を有しておりますが、一つの法医学教室で複数の本システムをお使いになるとそれぞれのシステムが相手の発番状況を把握できないためにそれぞれに番号を発行するので番号が重複してしまう理由から鑑定番号の自動採番は「しない」設定になっております。

安全のためには鑑定番号はシステムでの自動採番ではなく法医学教室ごとに管理の上で入力してお使いください。

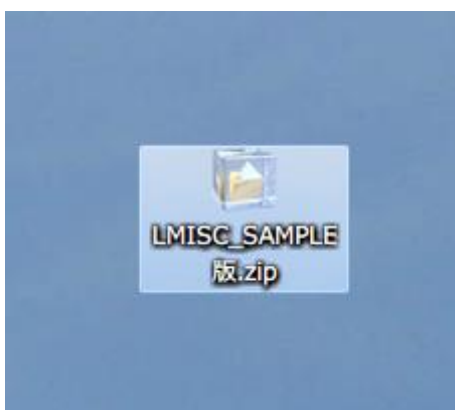
(3) 更新インストール

① プログラムのダウンロード

UMIN センターから「法医学データベースシステム (更新用)」を WindowsPC のデスクトップにダウンロードします。

なお、ダウンロードのファイル名などは下記の例より変更になる場合があります。

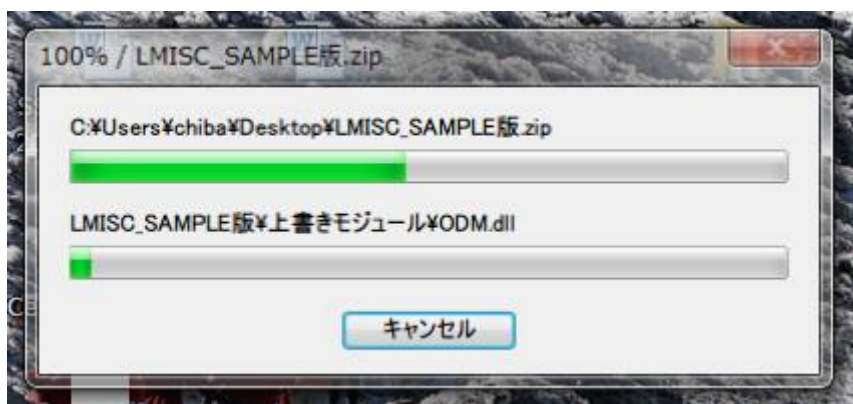
(ダウンロードしたところ)



② ダウンロードした圧縮ファイルの解凍

ダウンロードした圧縮ファイルをダブルクリックします。

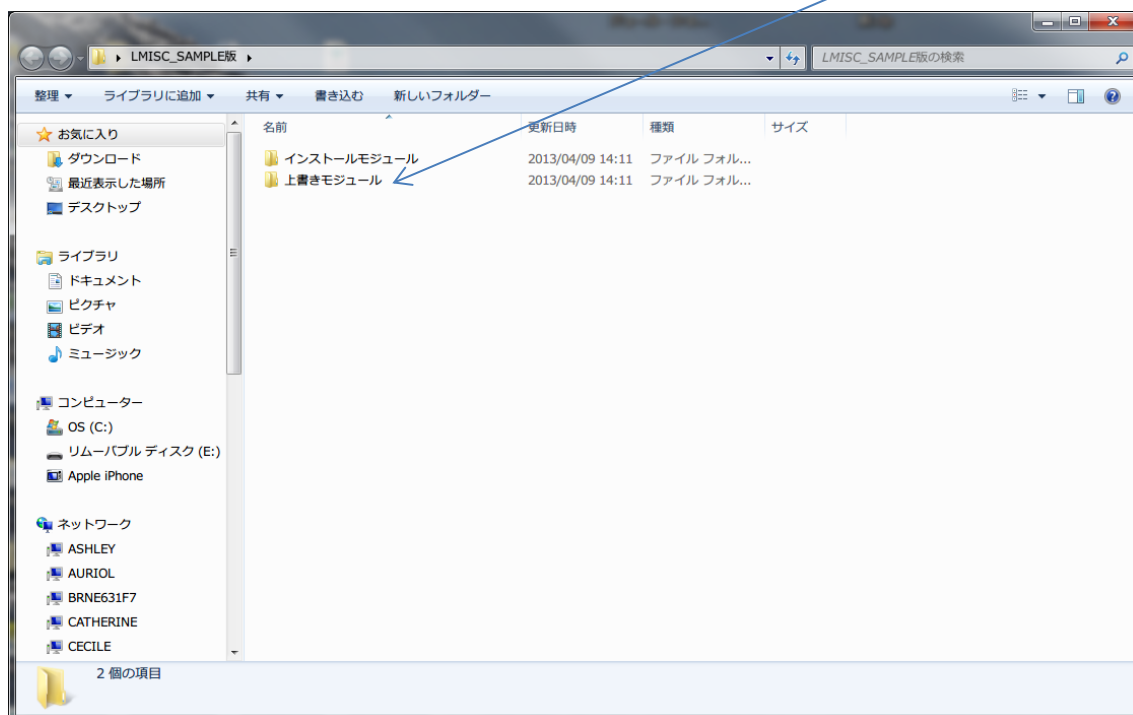
下記の画面の例のように自動で解凍が始まります。

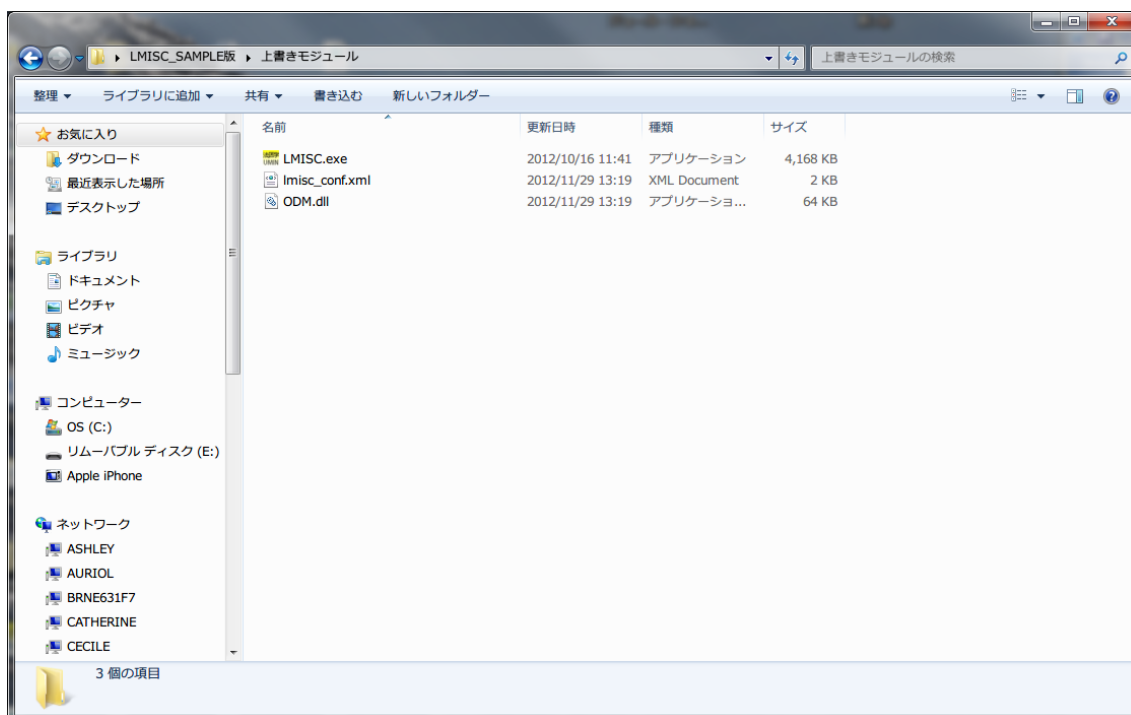


解凍が終了すると下記の例のように解凍後のフォルダーが自動で開きます。

「上書きモジュール」をクリックします。

クリックする

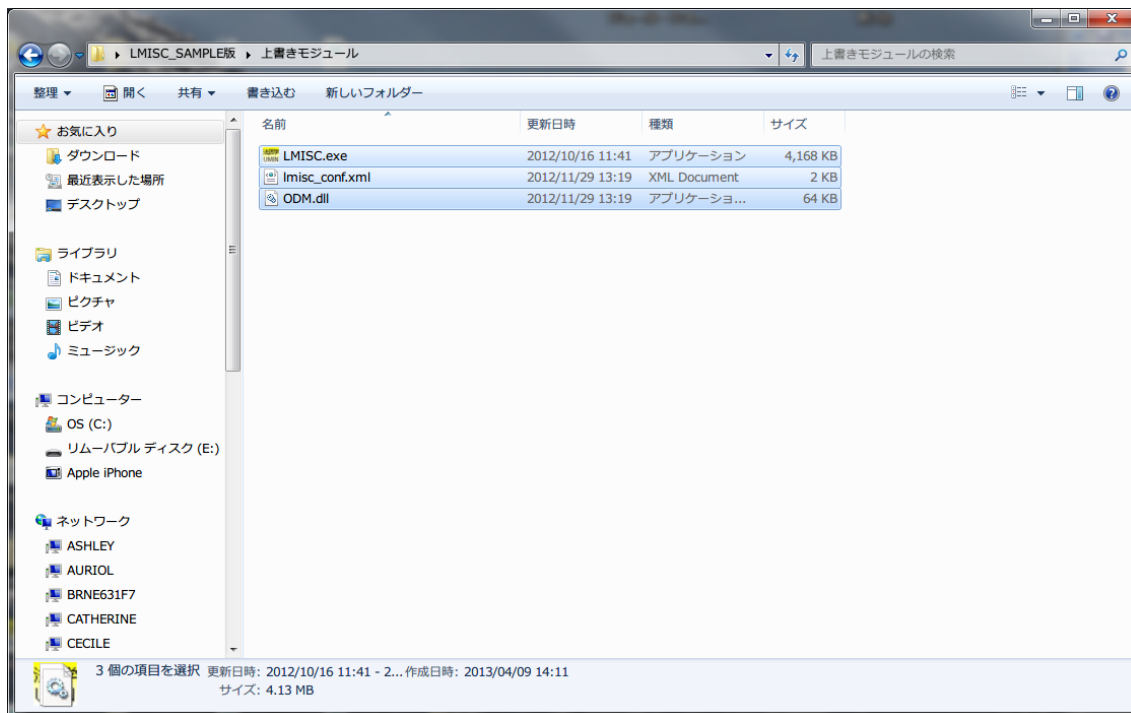




ここでキーボードの左下の「Ctrl」を押しながらマウスで「LMISC」と「ODM.dll」と「lmisc_conf.xml」をクリックします。

そうするとそれら3個が選択されます。

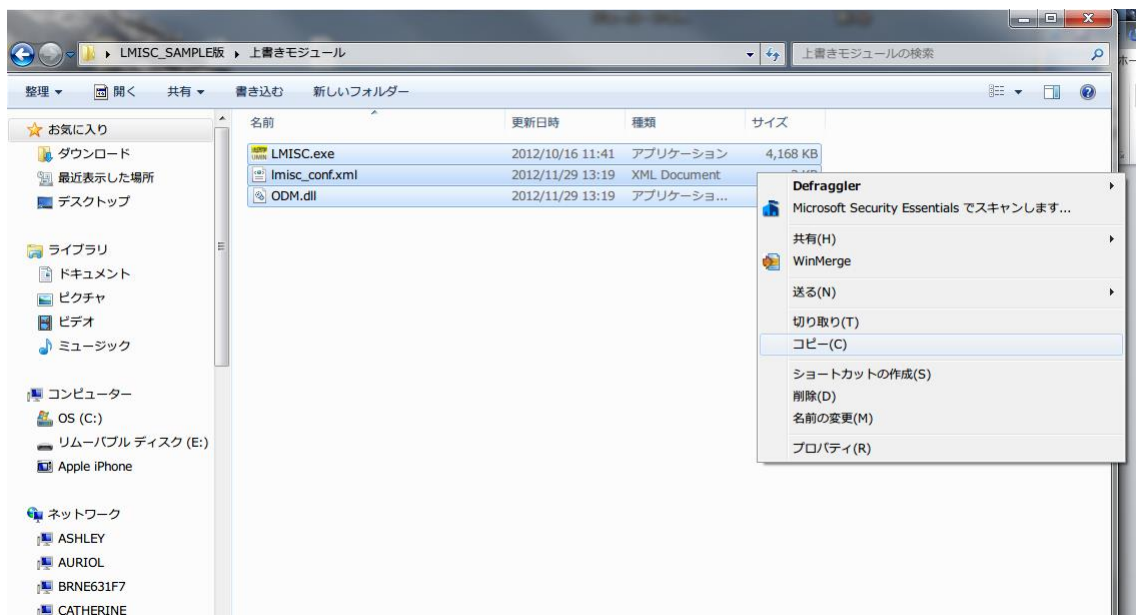
(3個が選択された状態)



ここで選択された「LMISC」の上にマウスカーソルを乗せて、マウスを右クリックすると下記のメニューが表示されます。

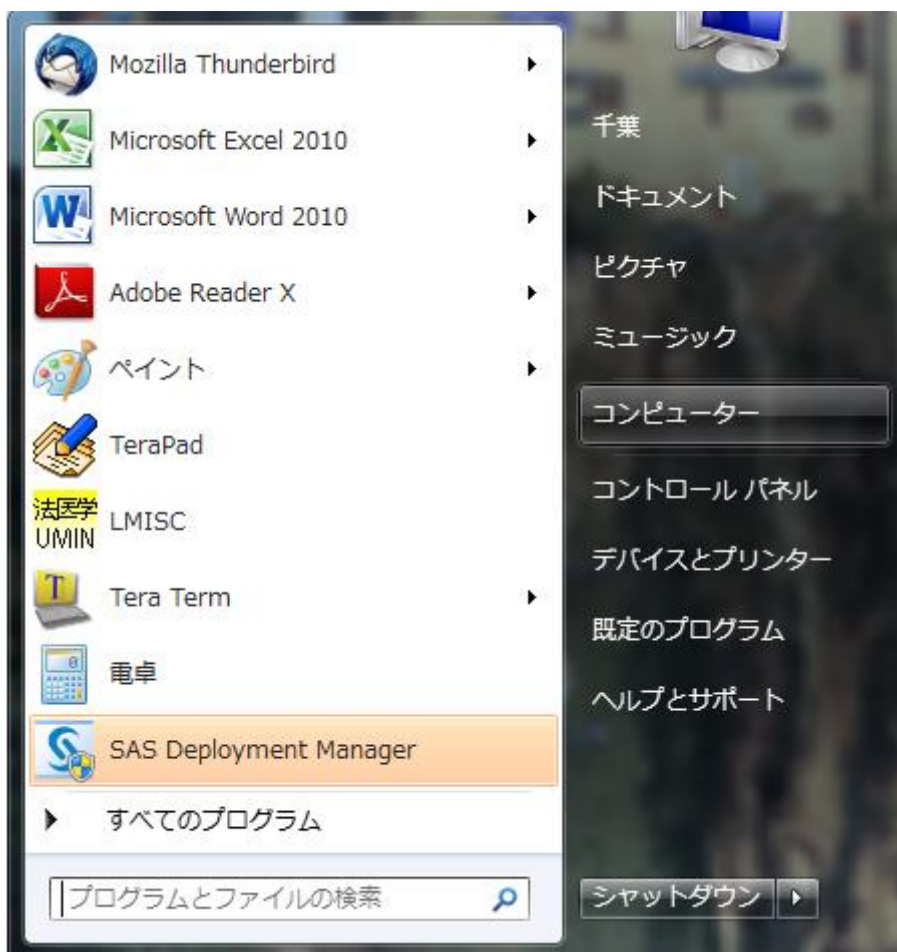
メニューの「コピー」を選択します。

(下図はメニューのコピーを選択している状態)



次にウインドウの左下の「スタートボタン」をクリックして「コンピューター」を選択します。

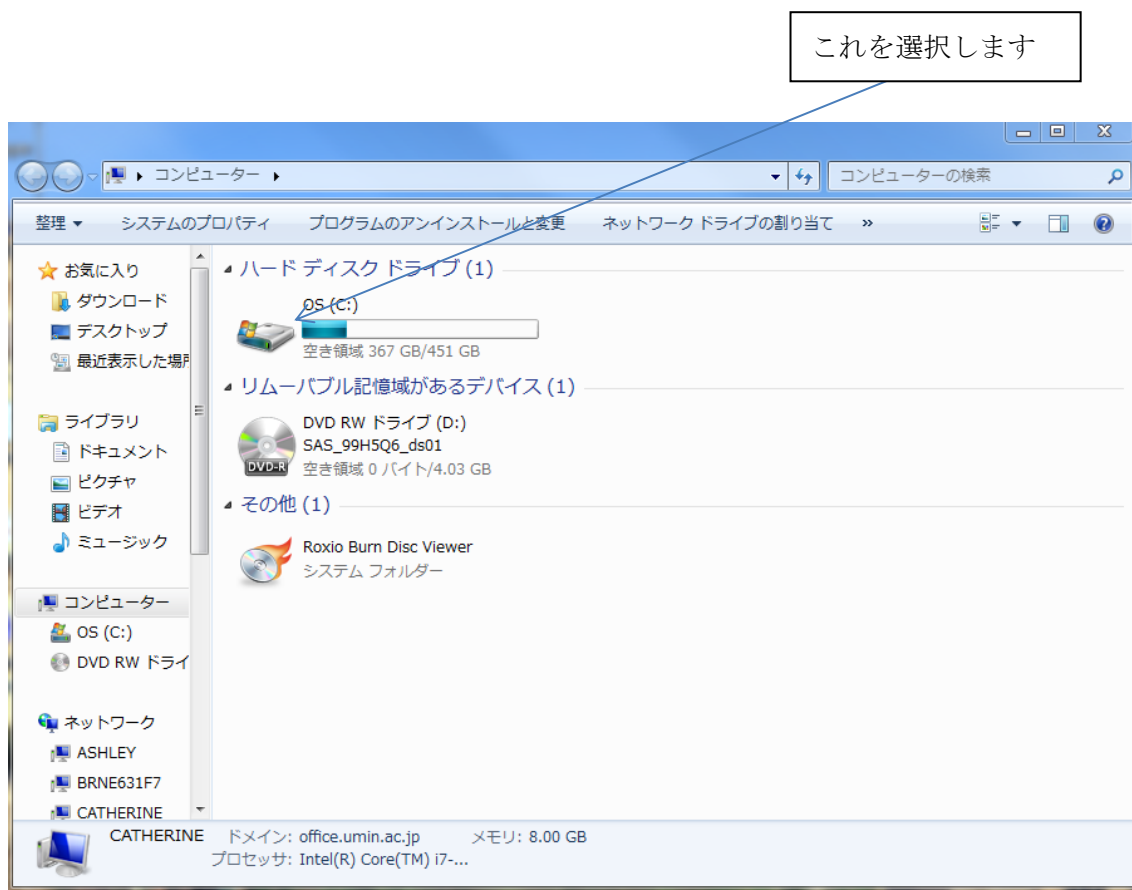
(下図は「コンピューター」を選択した状態)
なおご利用のシステムによって表示は異なります。



下記の様なウインドウが表示されます。

OS (C:) をマウスでダブルクリックします。

※表示はお使いのシステムによって異なる場合があります。

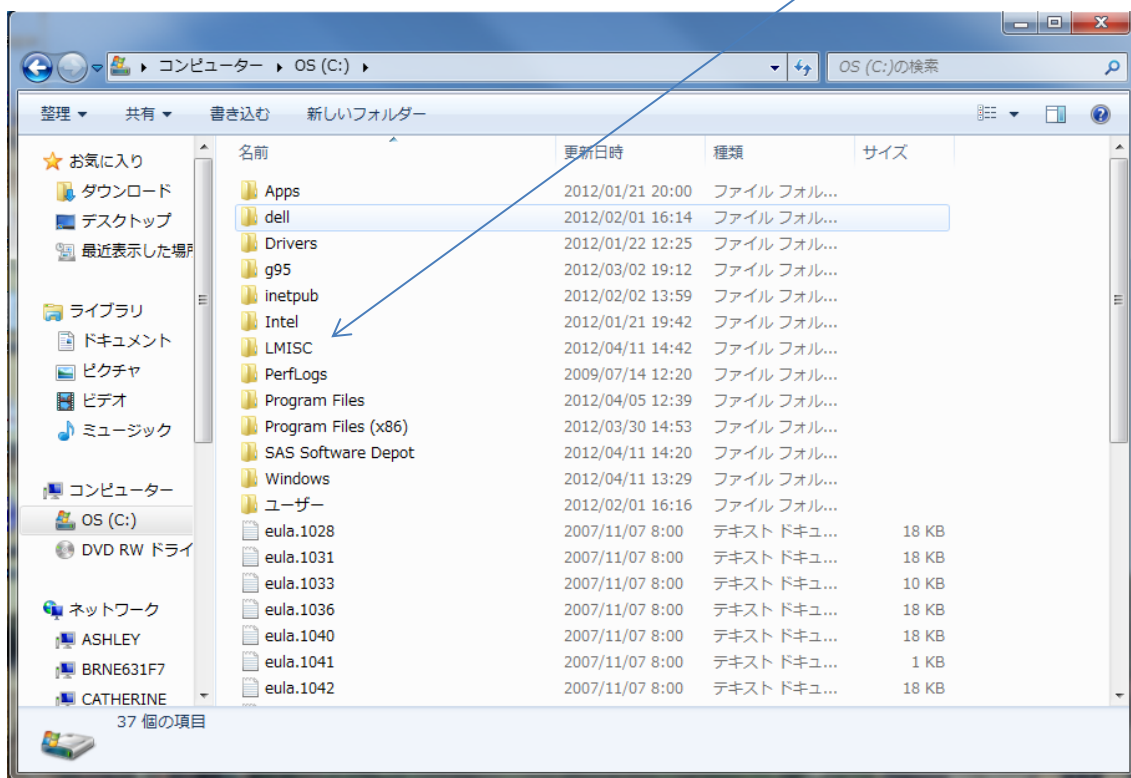


下記の様な画面が表示されます。

「LMISC」フォルダーをダブルクリックします。

※お使いのシステムによって画面は異なります。

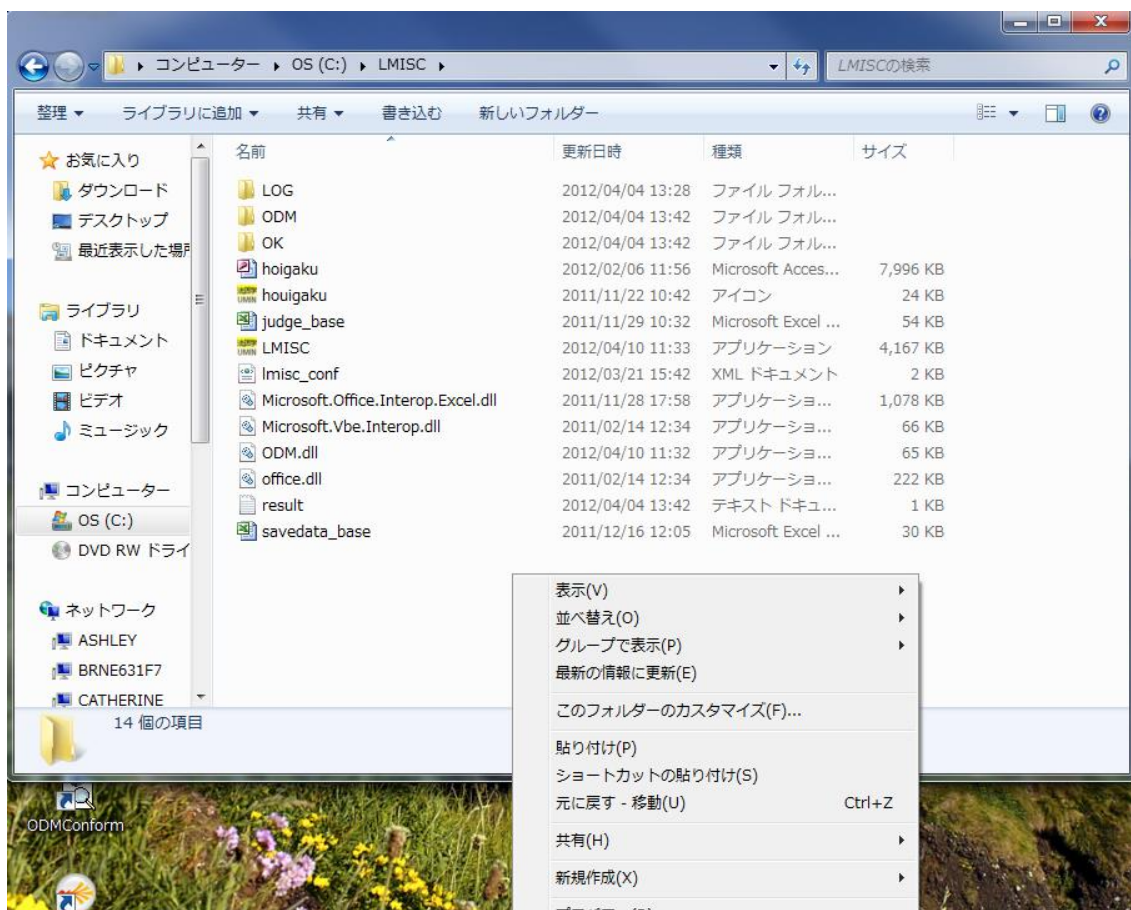
「LMISC」フォルダーをダブルクリックする



下記の様なウインドウが表示されます。

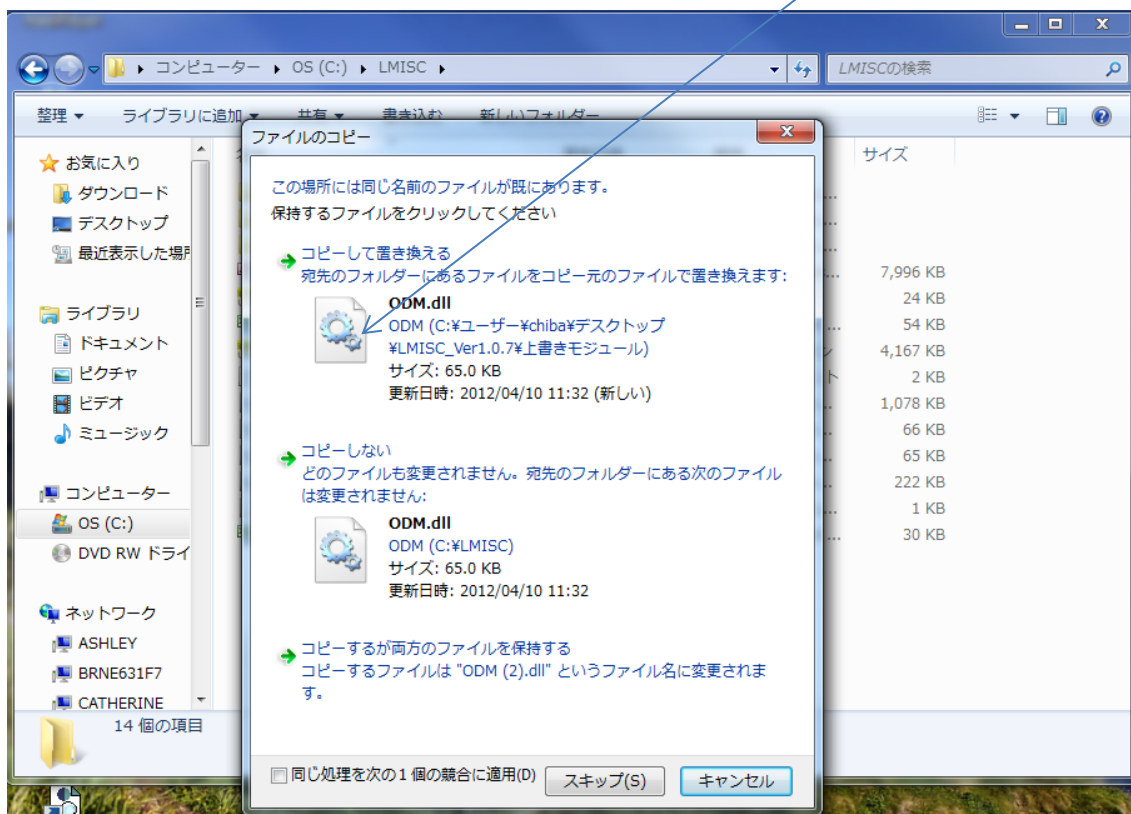
ここで、このウインドウ内にマウスを乗せてマウスの右ボタンを押します。

するとメニューが表示されますので「貼り付け」を選択します。



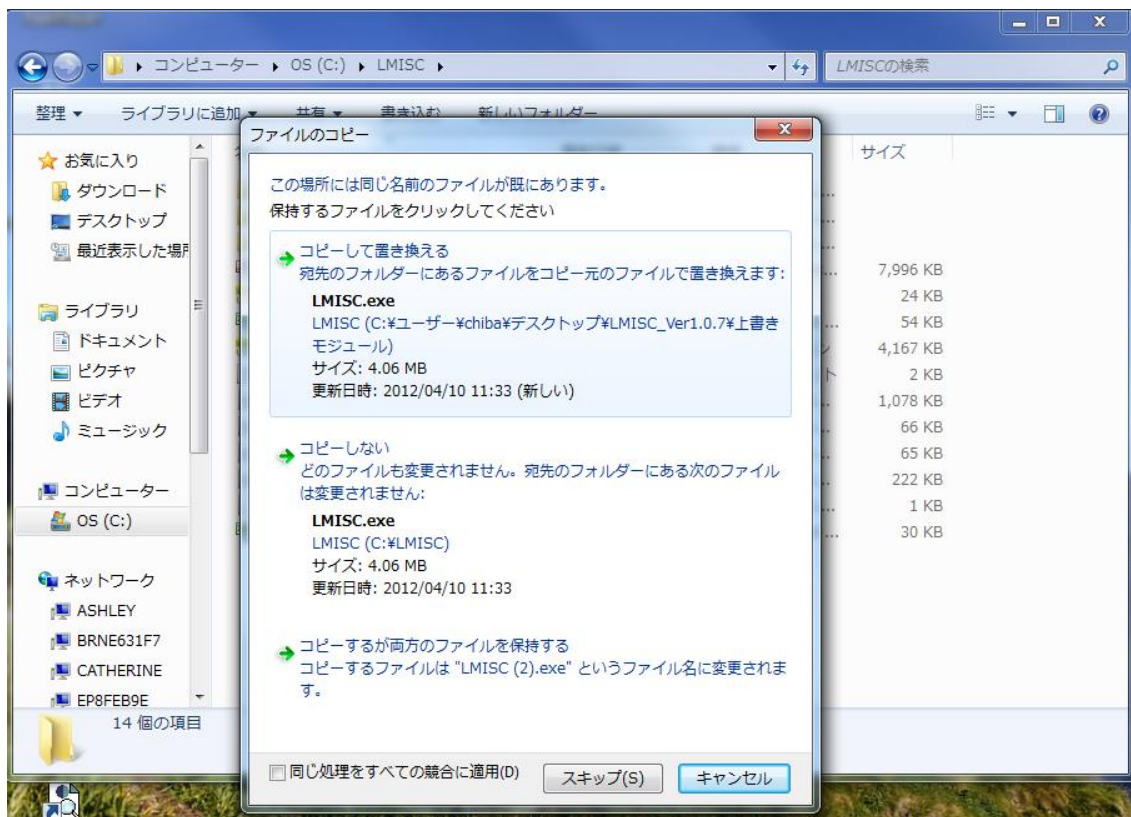
下記の様に上書きの確認が表示されますので「コピーして置き換える」をマウスで選択します。

「コピーして置き換える」を選択する



上書き確認は複数回表示されます。

全部「コピーして置き換える」を選択します。



2個のファイルを上書きしたら更新インストールは終了です。

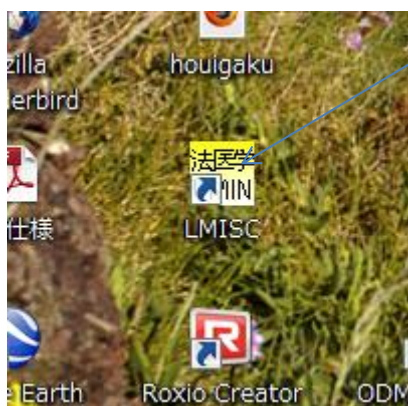
4. 利用マニュアル

(1) データの入力

① プログラムの起動

デスクトップ上にある黄色いアイコン「法医学 UMIN」をマウスでダブルクリックします。

「LMISC」をダブルクリックする



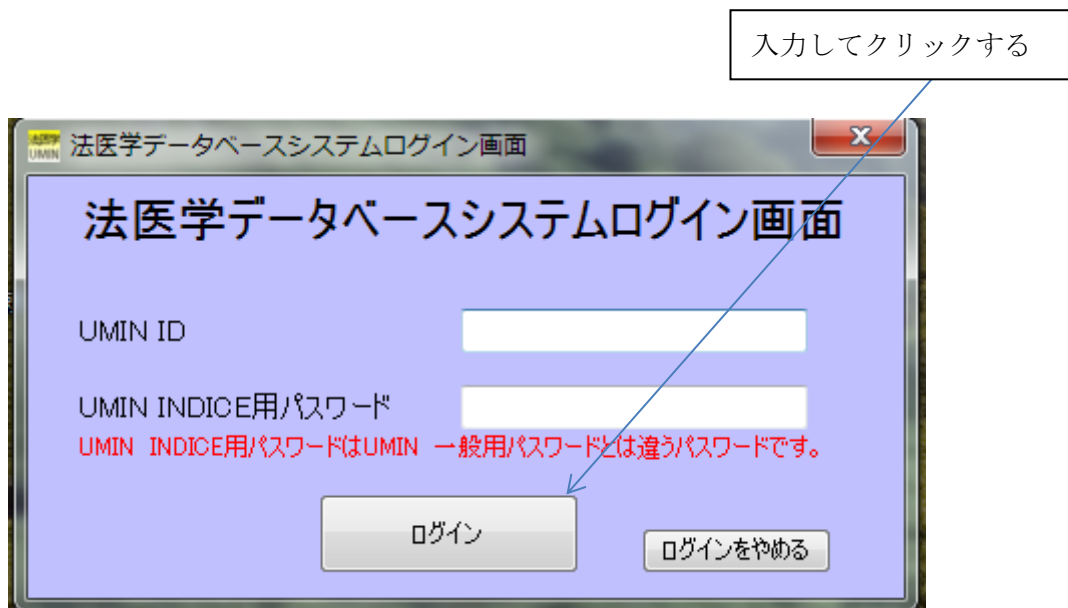
② ログイン画面

法医学データベースシステムを起動させるとログイン画面が表示されます。

UMIN ID と UMIN ~~INDICE~~一般系用パスワードを入力します。

入力後「ログイン」ボタンをクリックします。

画面では UMIN INDICE 用パスワードとなっておりますが、一般系パスワードを入力してお使いください。



③ 起動時画面

ID とパスワードが入力されると法医学データベースシステムは UMIN センター INDICE システムと通信して、入力された ID とパスワードが正しいか確認します。ID とパスワードが正しいと確認できると下記の様な起動時初期画面になります。

保存されている鑑定データなどによって起動時の画面イメージは下記サンプルと異なります。

法医学データベース起動画面

終了

新規指定入力

表示順切り替え 上から最新順 上から古い順(最新は下へ表示されます)

保存されている鑑定データの呼び出し

保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータ呼び出せます。

(右の検索ボックスにて検索絞り込みができます)

鑑定番号1	鑑定番号2	被検者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(A)直接死因
0059			一時	2012/02/08 10:21:26	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0058	XX99	E05300000003	確定	2012/02/06 10:39:34	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0057		E05300000002	確定	2012/02/06 10:39:27	平井 花子	鈴木 一郎	心不全
0056		E05300000001	確定	2012/02/06 10:39:21	田中 次郎	鈴木 次郎	脳内出血
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男	山田 太郎	出血性ショック
0054			一時	2012/02/02 16:10:48	香山 田女	鈴木 次郎	術後肺炎
0053			一時	2012/02/02 16:10:28	井上 三男	鈴木 次郎	肝不全
0052			一時	2012/02/02 16:11:07	宮藤 二女	鈴木 一郎	胃山門部乳頭状腺癌
0051			一時	2011/12/28 16:12:22	佐藤 一男	山田 太郎	敗血症性ショック

法医学データベース起動画面

法医学解剖一覧・死体検案一覧印刷 (医師の選択)

鑑定例概要エクセル出力

管理者用

期間 平成19年 4月11日 から 平成24年 4月11日 まで

④ 保存されているデータの選択

鑑定データを入力するために、保存されている過去の鑑定例のデータの中から、今回入力しようとしている鑑定に近いデータを選択します。鑑定データの選択は、データ一覧から希望するデータをマウスでクリックすることにより選択できます。

マウスでダブルクリックする

法医学データベース起動画面

終了

新規鑑定入力

表示順切り替え
 上から最新順 上から古い順(最新は下へ表示されます)

保存されている鑑定データの呼び出し
 保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータを呼び出せます。
(右の検索ボックスにて検索絞り込みができます)

鑑定番号1	鑑定番号2	被検者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(A)直接死因
0059			一時	2012/02/03 10:21:26	田中 次郎	鈴木 次郎	脳内出血
0058	XX99	E05300000003	確定	2012/02/06 10:39:34	河部 八幡	鈴木 次郎	心臓発作
0057		E05300000002	確定	2012/02/06 10:39:27	伊井 花子	鈴木 一郎	心不全
0056		E05300000001	確定	2012/02/06 10:39:20	田中 次郎	鈴木 次郎	脳内出血
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男	山田 太郎	出血性ショック
0054			一時	2012/02/02 16:10:48	香山 田女	鈴木 次郎	術後肺炎
0053			一時	2012/02/02 16:10:28	井上 三男	鈴木 次郎	肝不全
0052			一時	2012/02/02 16:11:07	宮藤 二女	鈴木 一郎	胃山門部乳頭状腺癌
0051			一時	2011/12/28 16:12:22	佐藤 一男	山田 太郎	敗血症性ショック

法医学データベース起動画面

法医学解剖一覧・死体検案一覧印刷
(医師の選択)
 期間 平成19年 4月11日 から 平成24年 4月11日 まで

鑑定例概要エクセル出力

 保存されているデータのエクセル出力

管理者用

⑤ 保存されているデータの絞り込み選択

過去に保存されているデータを検索して絞り込み事が出来ます。

下図は過去の鑑定例で「ショック」の記載があるものを絞り込むために文字を入力している例です。

ここに入力して右側の「検索する」ボタンを押す

法医学データベース起動画面

終了

新規指定入力

表示順切り替え
 上から最新順 上から古い順(最新は下へ表示されます)

保存されている鑑定データの呼び出し
 保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータを呼び出せます。

鑑定番号1	鑑定番号2	被検者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(?)直接死因
0059			一時	2012/02/03 10:21:26	田中 太郎	録木 次郎	脳内出血
0058	XX99	E05300000003	鑑定	2012/02/06 10:39:34	京都 八寸コ	録木 次郎	心臓発作
0057		E05300000002	鑑定	2012/02/06 10:39:27	平井 花子	録木 一郎	心不全
0056		E05300000001	鑑定	2012/02/06 10:39:21	田中 太郎	録木 次郎	脳内出血
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男	山田 太郎	出血性ショック
0054			一時	2012/02/02 16:10:48	青山 四女	録木 次郎	術後肺炎
0053			一時	2012/02/02 16:10:28	井上 三男	録木 次郎	肝不全
0052			一時	2012/02/02 16:11:07	斎藤 二女	録木 一郎	胃幽門部乳頭状腫瘍
0051			一時	2011/12/28 16:12:22	佐藤 一男	山田 太郎	敗血症性ショック

法医学データベース起動画面

法医学解剖一覧・死体検案一覧印刷
 (医師の選択)

鑑定例概要エクスセル出力

管理画面

期間 平成19年 4月11日 から 平成24年 4月11日 まで

保存されているデータのエクスセル出力

下図は鑑定例データに「ショック」の記載があるものが絞り込まれたところです。
希望のデータをマウスでクリックして呼び出します。

法医学データベース起動画面

終了

新規鑑定入力 [新規データ入力画面へ](#)

表示順切り替え
 上から最新順 上から古い順(最新は下へ表示されます)

保存されている鑑定データの呼び出し
 保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータを呼び出せます。

全例を表示

〈右の検索ボックスにて検索絞りの込みができます〉 ショック

鑑定番号1	鑑定番号2	被験者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(?)直接死因	性別	生年月日	死亡したとき	検案年月日	検案書発行年月日	鑑定種類	死亡したところ
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男	山田 太郎	出血性ショック	男	2011/01/12	2011/12/06	2011/12/28	2011/12/28	その他	病院
0051			一時	2011/12/28 16:12:22	佐藤 一男	山田 太郎	散血症性ショック	男	1971/06/06	2011/08/30	2011/12/28	2011/12/28	司法	病院

法医解剖一覧・死体検案一覧印刷 (医師の選択)

鑑定例概要エクセル出力

管理者用

保存されているデータが呼び出されました。

このデータを参考として別な鑑定例データとする場合は画面の左上の「新しい鑑定番号1を取得して新しい鑑定として編集する」ボタンをクリックします。

新しいデータとするためにこのボタンをクリックする

The screenshot shows the '法医学データベース入力画面' (Forensic Database Input Screen) with a form for entering case data. The form includes fields for identification number, name, sex, date of death, and cause of death. A callout box points to the button '新しい鑑定番号1を取得して新しい鑑定として編集する' (Get new identification number 1 and edit as new case).

Buttons at the top right: 一時保存 (Temporary Save), 死亡検案書印刷 (Print Death Case Report), 死亡診断書印刷 (Print Death Certificate), 削除 (Delete).

Buttons at the bottom right: 各機関保存用情報 (Information for each institution), 自由記載欄 (Free description field), 鑑定例概要追加記入欄 (Additional entry field for case summary).

Form fields include: 鑑定番号1 (0051), 鑑定番号2, 氏名 (佐藤 一男), 性別 (男), 生年月日 (46年05月06日), 死亡したとき (平成 23年08月30日), 死亡したところ及びその種別 (病院), 死亡した原因 (I: 胸部, II: 2型糖尿病), 手術 (無), 死因の種類 (1: 病死及び自然死), 傷害が発生した時 (平成 23年05月23日).

過去の鑑定番号1が消えますので、新たな鑑定番号1を入力して、別の新しい鑑定データとして入力します。

鑑定番号1が入力できるようになります。入力してください。

法医学データベース入力画面

戻る

新しい鑑定番号1を取得して新しい鑑定データとして編集する

鑑定番号1 鑑定種類 司法 承諾 その他 行政 検案

法医学教室名 UMINセンター

氏名 佐藤 一男 性別 男 不詳 女 生年 平成 昭和 大正 明治 不詳 46年06月06日 午前 08時15分 午後

死亡したとき 平成 28年08月30日 午前 午後 01時50分 頃 (0時、1時など選択または入力) (推定、伝聞など選択または入力) (推定)

死亡したところ及びその種別

死亡したところの種別 1:病院 2:診療所 3:介護老人保健施設 4:助産所 5:老人ホーム 6:自宅 7:その他

死亡したところ 病室 発見

(死亡したところの種別が1-5の場合)施設の名称 京都大学付属病院

死亡の原因

I (A)直接死因 敗血症性ショック 2時間30分

(イ)原因 肺胸 5日

(ロ)原因 クレブシエラ肺炎 1か月

II (ク)原因 直接死因は関係しないが、基礎疾患(糖尿病)の影響を及ぼした種別名 2型糖尿病 10年

手術 無 手術を実施 手術年月日 平成 昭和 28年05月29日 不詳

解剖 無 有

死因の種類

1病死及び自然死 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火傷による傷害

外因死 不慮の外因死 6窒息 7中毒 8その他

12不詳の死 9その他及び不詳の外因死 8自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因

平成 年 月 日 午前 午後 (推定を選択または入力) 備考

新たなデータとして確定保存しUMINセンターへ送る 一時保存 死体検案書印刷

新たなデータとして確定保存 死亡診断書印刷 データ削除

各機関保存用情報(鑑定例概要には反映されません)

血液型 実施 未実施 アルコール 実施 未実施

CO 実施 未実施 トライエージ 実施 未実施

組織 実施 未実施 精液 実施 未実施

プランクトン 実施 未実施 血液生化学 実施 未実施

DNA 実施 未実施 その他の薬毒物 実施 未実施

自由記載欄

鑑定例概要用追加記入欄

鑑定例概要 記載用死因 死亡で強制上書

クレブシエラ肺炎肺胸敗血症性ショック

年齢 不詳 40歳 死亡までの時間 死後の経過時間

(0歳未満など) (推定) 225日

鑑定例概要 事例の詳細 (左側の手術及び状況の入力で強制的に上書きされます)

事例の詳細1

鑑定例概要 解剖所見など (左側の解剖の入力で強制的に上書きされます)

解剖の所見1

⑥ 入力時の注意点

法医学データベースシステムでは正確な入力を行うため及び入力の省力化のためにいくつかの機能があります。

主なものは下記があります。

利用におきましてはご注意ください。

また法医学データベースシステムのバージョンによりこれら機能の追加や廃止がされている場合があります。

1. 一時保存及び確定保存時下記が必須入力になります。
 - (ア) 鑑定番号 1 の入力は必須入力になります。
 - (イ) 医師名の入力（選択）は必須入力になります。
2. 確定保存時の場合、以下のチェックが掛かります。
 - (ア) 鑑定種類の選択が必須になります。
 - (イ) 性別の選択が必須になります。
 - (ウ) 生年月日が「不詳」以外の時は生年月日が必須入力になります。（「不詳」の場合は入力変更が出来なくなります）
 - (エ) 死亡したときが「不詳」以外の時は死亡したときが必須入力になります。（「不詳」の時は入力変更が出来なくなります）
 - (オ) 死亡したところの種別が 1 から 5 の場合は施設の名称が必須入力になります。（種別が 6 から 7 の場合は施設の名称は入力変更が出来なくなります）
 - (カ) (ア) 直接死因と死亡までの期間は必須入力です。
 - (キ) 死因の種類が外因死（2 から 1 1）の時は外因死の追加事項が必須入力になります。
 - (ク) 外因死の追加事項において傷害が発生した時が「不詳」以外の時は日時が必須入力となります。（「不詳」以外の時は入力変更ができなくなります）
 - (ケ) 外因死の追加事項において傷害が発生したところの種別が「4:その他」の場合は、その他の具体的記載が必須入力になります。（「4:その他」以外の時は入力変更が出来なくなります）
 - (コ) 傷害が発生したところの「市／郡」または「区／町／村」が必須入力です。
 - (サ) 年齢が 1 歳未満の時、妊娠・分娩における母体の病態または異常欄の選択が必須になります。
 - (シ) 年齢が一歳未満の時、母の生年月日が「不詳」以外の時、母の生年

- 月日が入力必須になります。（「不詳」の時は入力変更が出来なくなります）
- (ス) 年齢が一歳未満の時、前回までの妊娠結果が「不詳」以外の時、出生児と死産児が必須入力になります。（「不詳」の場合は入力変更が出来なくなります）
 - (セ) 死因の種類が「12:不詳の死」の時、その他特に付言すべきことがらが必須入力になります。
 - (ソ) 生年月日が不詳以外でかつ死亡したときが不詳で無い時は年齢が必須入力になります。
 - (タ) 生年月日が不詳以外の時は推定年齢が必須入力になります。
 - (チ) 生年月日が死亡したときより後の場合はエラーとなります。（年齢がエラー）
 - (ツ) 死亡したときが検案年月日より後の場合はエラーとなります。（死後の経過時間がエラー）
3. 右側の鑑定例概要追加記入欄の「鑑定例概要記載用死因」は左側の死亡の原因の「I」の部分を変更すると強制的に上書きさせられます。鑑定例概要記載用死因の変更は可能ですが、左側の死亡の原因の「I」を変更した場合は強制上書きされます。
 4. 「鑑定例概要 事象の詳細」及び「鑑定例概要 解剖所見など」も「鑑定例概要記載用死因」と同様に強制上書きされます。
 5. 年齢は自動計算されます。
 6. 年齢が1歳未満の場合は日齢で自動計算されます。
 7. 死後の経過時間は自動計算されますが変更は可能です。

⑦ 印刷

死体検案書または死亡診断書の印刷を行うことができます。

画面右上にそれぞれ「死体検案書印刷」、「死亡診断書印刷」ボタンがあるので必要に応じてボタンをクリックしてください。

各印刷ボタン

The screenshot shows the '法医学データベース入力画面' (Forensic Database Input Screen) with the following details:

- Header:** 法医学データベース入力画面
- Buttons:** 戻る (Back), 新たなデータとして確定保存しUMINセンターへ送る (Save and send to UMIN center), 一時保存 (Temporary save), 新たなデータとして確定保存 (Save as new data), 死体検案書印刷 (Print Autopsy Report), 死亡診断書印刷 (Print Certificate of Death), データ削除 (Delete data).
- Form Fields:**
 - 鑑定番号1: 0051
 - 鑑定番号2: (empty)
 - 鑑定種類: 司法 (selected), 承諾, その他, 行政, 検案
 - 法医学教室名: UMINセンター
 - 氏名: 佐藤 一男
 - 性別: 男 (selected), 不詳, 女
 - 生年月日: 平成 46年06月06日
 - 死亡したとき: 平成 28年08月30日
 - 死亡したところ及びその種別: 死亡したところの種別 (1:病院 selected), 死亡したところ: 病室
 - 死亡の原因: (ア)直接死因: 敗血症性ショック, (イ)の原因: 臍胸, (ク)の原因: クレブシエラ肺炎, (ク)の原因: 2型糖尿病
 - 手術: 有 (selected), 無
 - 死因の種類: 1:病死及び自然死, 2:交通事故, 3:転倒・転落, 4:溺水, 5:煙・火災及び火傷による傷害, 6:窒息, 7:中毒, 8:その他, 9:自殺, 10:他殺, 11:その他及び不詳の外因, 12:不詳の死
- Right Panel:** 各機関保存用情報 (鑑定例概要には反映されません)
 - 血液型: 実施 (selected), 未実施
 - アルコール: 実施 (selected), 未実施
 - CO: 実施 (selected), 未実施
 - トライエーゼ: 実施 (selected), 未実施
 - 組織: 実施 (selected), 未実施
 - 精液: 実施 (selected), 未実施
 - プランクトン: 実施 (selected), 未実施
 - 血液生化学: 実施 (selected), 未実施
 - DNA: 実施 (selected), 未実施
 - その他の薬毒物: 実施 (selected), 未実施
- Bottom Right:** 鑑定例概要追加記入欄
 - 鑑定例概要記載用死因: クレブシエラ肺炎臍胸敗血症性ショック
 - 年齢: 不詳, 40歳
 - 死亡までの時間: (推定)
 - 死後の経過時間: (推定)
 - 鑑定例概要 事例の詳細 (左側の手術及び状況の入力で自動的に上書きされます)
 - 事例の詳細1: (empty)
 - 鑑定例概要 解剖所見など (左側の解剖の入力で自動的に上書きされます)
 - 解剖所の所見1: (empty)

「死体検案書印刷」などのボタンをクリックすると印刷イメージが画面に展開されます。実際に印刷するには画面左上のプリンターのマークを押してください。

プリンターのマークを押す

Main Report

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。がい書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名	京都 ハナコ		性別	1 男	生年月日	明治 昭和 大正 <input checked="" type="radio"/> 平成 23 年 2 月 1 日	時刻	午前 午後 11時34分	
死亡したとき	平成 24 年 1 月 10 日	時刻	午後 4 時 05 分頃 (推定)						
(12) 死亡したところ	死亡したところの種類 <input checked="" type="radio"/> 病院 2 診療所 3 介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他								
(13) 及びその場所	死亡したところ <input type="checkbox"/> ベッド								
(14) 死因の種類	死亡したところの種類(1)～(5) 種別の名を								
(14) 死因の種類	(ア)直接死因	心臓発作			死因(死因)又は変換から死亡までの期間	1ヶ月			
	(イ)原因	動脈				7日			
	(ウ)原因	静脈				5日			
	(エ)原因	呼吸				3ヶ月			
	(オ)原因	心肺停止				2日			
(15) 死因の種類	手術								
	1 無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/>			手術を実施。			手術年月日 <input checked="" type="radio"/> 平成 23 年 7 月 2 日		
(16) 死因の種類	解剖								
	1 無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/>			解剖の結果、○○○となった。					
(17) 死因の種類	①病死及び自然死								
	外因死			不慮の外因死 { 2 交通事故 3 転倒 転落 4 溺水 5 崖、火災及び火傷による傷害 6 窒息 7 中毒 8 その他 } その他及び不詳の外因死 9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因					
外因死の発生したところ	1 住居 2 工場及び事業場 3 道路 4 その他(傷害発生の詳細) 5 未詳								
外因死の発生時刻	平成 23 年 6 月 3 日 午前 11 時 23 分頃								
外因死の発生場所	京都府 京都市 左京区								

記入の注意

生年月日が不明の場合は、推定年齢をカッコで併記して書いてください。

死の診断は「病理解」、疑いの診断は「推定病」と書いてください。

「老人ホーム」は、養老老人ホーム、介護老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

種別名等は、日本語で書いてください。英語については、死因の種別(病理解)、原因(病理解)、死因(病理解)等もできるだけ書いてください。

経緯中の死亡の場合は「経緯中の死亡」と書いてください。海難死の場合は「経緯中の死亡(海難死)」と書いてください。

1 歳及び生後1 歳未満の胎児については、解剖又は種別のある死因等を添えてください。胎児死や胎死による傷害については、火災による二酸化炭素中毒、窒息等も添えてください。

① 病死、自然死、不慮の外因死、その他及び不詳の外因死は、死因の種類(1)～(5)の種別名を添えてください。

② 胎児、胎死、死産の場合は、1 歳未満の胎児死、胎死、死産であることを添えてください。

③ 手術、解剖の結果、○○○となった。

④ 病死及び自然死、不慮の外因死、その他及び不詳の外因死は、死因の種類(1)～(5)の種別名を添えてください。

⑤ 胎児、胎死、死産の場合は、1 歳未満の胎児死、胎死、死産であることを添えてください。

⑥ 手術、解剖の結果、○○○となった。

⑦ 病死及び自然死、不慮の外因死、その他及び不詳の外因死は、死因の種類(1)～(5)の種別名を添えてください。

⑧ 胎児、胎死、死産の場合は、1 歳未満の胎児死、胎死、死産であることを添えてください。

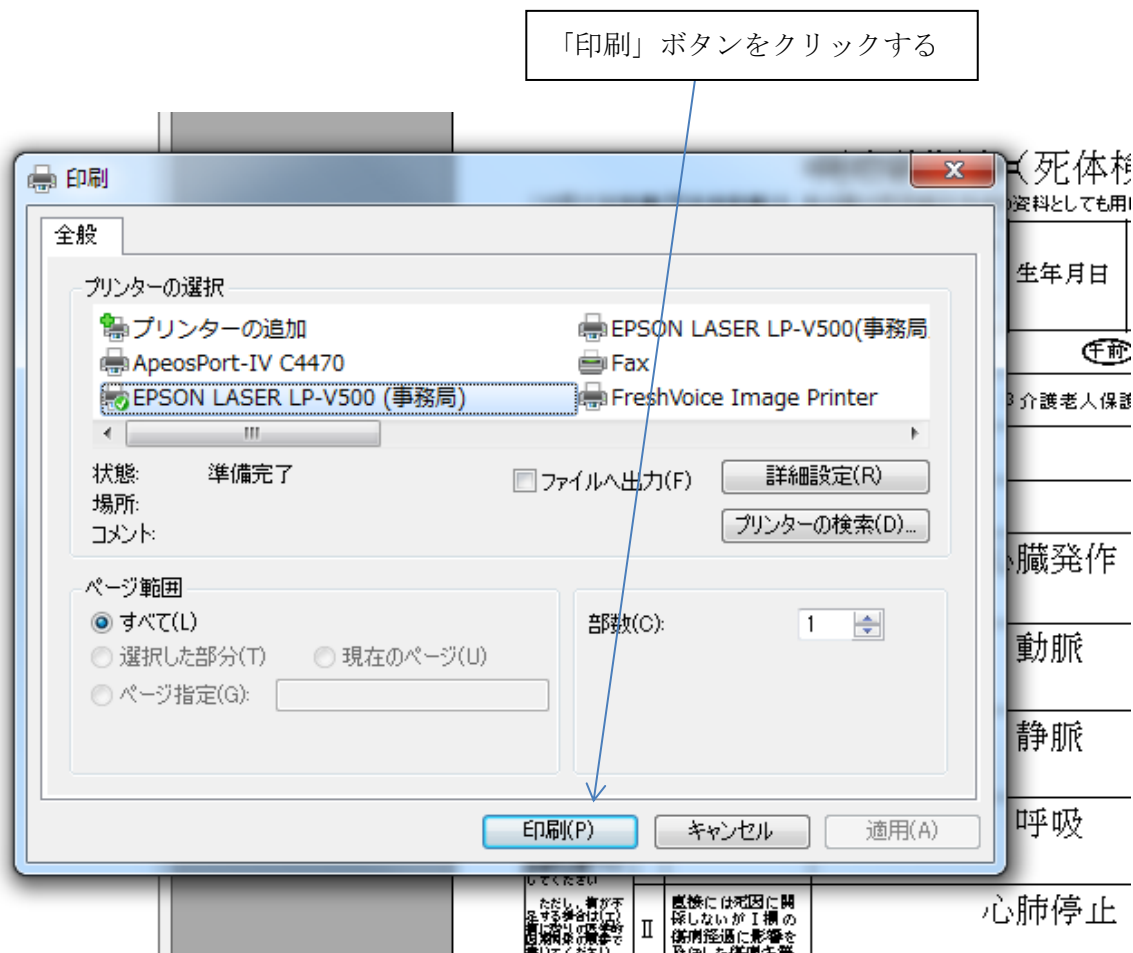
⑨ 手術、解剖の結果、○○○となった。

⑩ 病死及び自然死、不慮の外因死、その他及び不詳の外因死は、死因の種類(1)～(5)の種別名を添えてください。

⑪ 胎児、胎死、死産の場合は、1 歳未満の胎児死、胎死、死産であることを添えてください。

⑫ 手術、解剖の結果、○○○となった。

プリンターの選択ウインドウが表示されます。お使いのパソコンで利用可能なプリンターなどが表示されますので必要に応じて選択後「印刷」ボタンをクリックします。



印刷が終了しましたら印刷イメージの画面を閉じて下さい。ウインドウを閉じるためにウインドウ右上の赤い「×」をクリックする。

赤い「×」をクリックする



印刷イメージ展開画面が閉じると入力画面に戻ります。

法医学データベース入力画面

法医学データベース入力画面

新しい鑑定番号1を取得して新しい鑑定として編集する

鑑定番号1	0051	鑑定種類	<input checked="" type="radio"/> 司法 <input type="radio"/> 承継 <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 行政 <input type="radio"/> 検案	法医学教室名	UMINセンター
鑑定番号2		氏名	佐藤 一男	性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 不詳 <input type="radio"/> 女
死亡したとき	平成 23年 08月 30日	死亡したときの種別	<input checked="" type="radio"/> 1:病院 <input type="radio"/> 2:診療所 <input type="radio"/> 3:介護老人保健施設 <input type="radio"/> 4:助産所 <input type="radio"/> 5:老人ホーム <input type="radio"/> 6:自宅 <input type="radio"/> 7:その他		
死亡したところ及びその種別	病室	死亡したところ	京都大学付属病院		
死亡の原因	(ア)直接死因	敗血症性ショック	2時間30分	5日	
	(イ)の(ア)の原因	肺炎	1か月	10年	
	(ウ)の(イ)の原因	クレブシエラ肺炎	手術		
	(エ)の(ウ)の原因	2型糖尿病	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		
	手術	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有			手術年月日 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 昭和 23年 05月 23日 <input type="radio"/> 不詳
解剖	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				
死因の種類	<input type="radio"/> 1病死及び自然死 <input type="radio"/> 2交通事故 <input type="radio"/> 3転倒・転落 <input type="radio"/> 4溺水 <input type="radio"/> 5煙火、火災及び火傷による傷害 <input type="radio"/> 6窒息 <input type="radio"/> 7中毒 <input type="radio"/> 8その他 <input type="radio"/> 9自殺 <input type="radio"/> 10他殺 <input type="radio"/> 11その他及び不詳の外因 <input type="radio"/> 12不詳の死				
傷害が発生した時	平成 昭和 二年 月 日	午前 午後	傷害別		

各機関保存用情報(鑑定例概要には反映されません)

血液型	<input checked="" type="radio"/> 実施	<input type="radio"/> 未実施	アルコール	<input type="radio"/> 実施	<input checked="" type="radio"/> 未実施
OO	<input checked="" type="radio"/> 実施	<input type="radio"/> 未実施	トライエーゼ	<input type="radio"/> 実施	<input checked="" type="radio"/> 未実施
組織	<input checked="" type="radio"/> 実施	<input type="radio"/> 未実施	精液	<input type="radio"/> 実施	<input checked="" type="radio"/> 未実施
プランクton	<input checked="" type="radio"/> 実施	<input type="radio"/> 未実施	血液生化学	<input type="radio"/> 実施	<input checked="" type="radio"/> 未実施
DNA	<input checked="" type="radio"/> 実施	<input type="radio"/> 未実施	その他の薬毒物	<input type="radio"/> 実施	<input checked="" type="radio"/> 未実施

自由記載欄

鑑定例概要追加記入欄

鑑定例概要 記載用死因
クレブシエラ肺炎肺炎敗血症性ショック

年齢 不詳 40 歳 死亡までの時間 死後の経過時間
(推定年齢など) (推定)

鑑定例概要 事例の詳細 (左側の年齢及び状況の入力で自動的に上書きされます)
事例の詳細1

鑑定例概要 解剖所見など (左側の解剖の入力で自動的に上書きされます)
解剖所見1

⑧ 入力終了の場合

データを入力後は通常処理として「新たなデータとして確定保存し UMIN センターへ送る」のボタンをクリックします。

これによりデータが保存されると共に UMIN センターへデータが自動で送信されます。

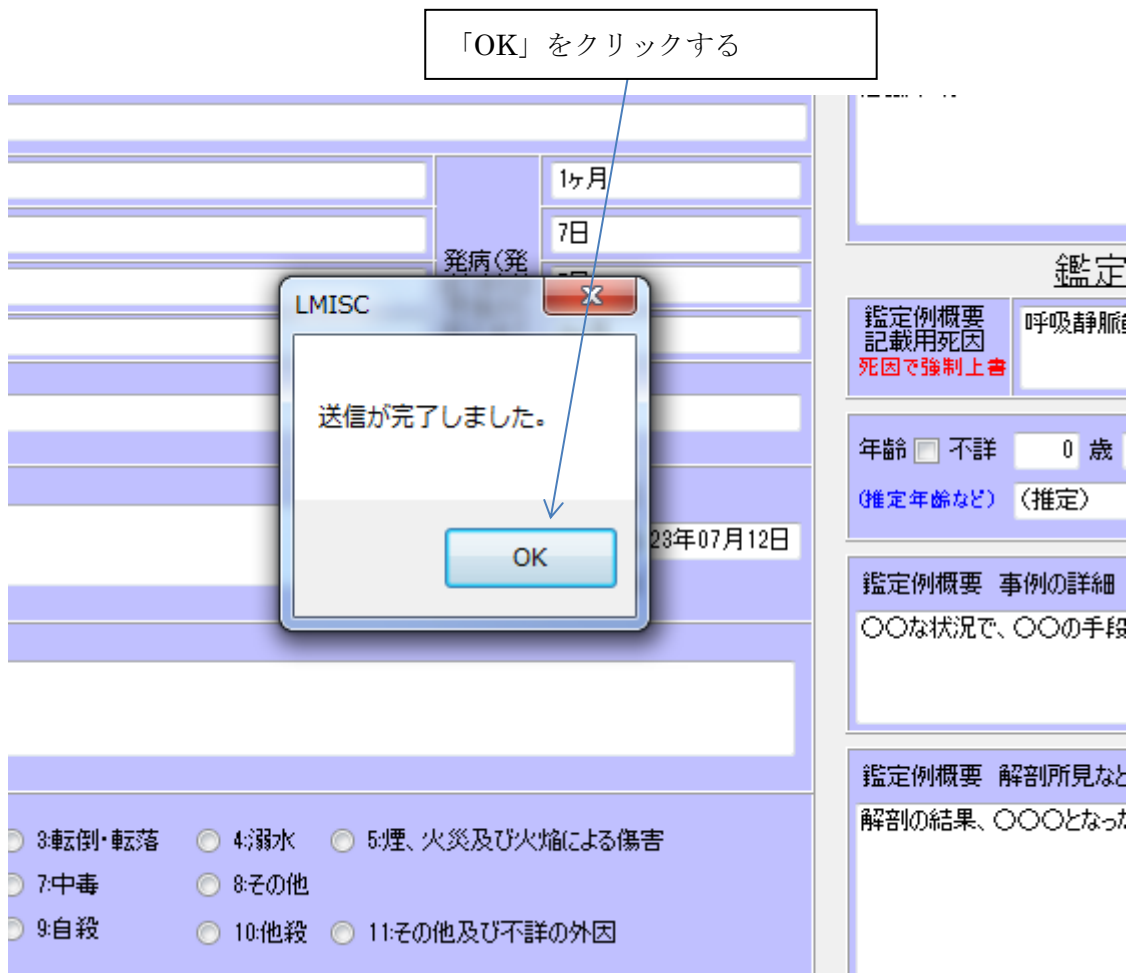
また、データの入力を途中で中断して仮保存を行いたい場合は「一時保存」のボタンをクリックして保存できます。

「新たなデータとして確定保存し UMIN センターへ送る」のボタンをクリックすると下記の確認画面が表示されます。

「はい」をクリックしてください。



データが保存され、UMIN センターへも送信が成功すると下記の画面になります。
「OK」をクリックしてください。



UMIN センターへのデータ送信が終了すると起動画面に戻ります。

このまま作業を終了する場合は画面左上の「終了」をクリックします。

別途新たなデータの入力を行う場合は、メニューで過去に保存されているデータを選択するか「新規データ入力画面へ」のボタンを押して、全く空白のデータより新規入力を行うことができます。

「終了」ボタンで終了する

法医学データベース起動画面

終了

新規指定入力

表示増切り替え
 上から最新順 上から古い順(最新は下へ表示されます)

保存されている指定データの呼び出し
 保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータを呼び出せます。
(右の検索ボックスにて検索絞り込みができます)

指定番号1	指定番号2	被検者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(A)直接死因
0059			一時	2012/02/08 10:21:26	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0058	X099	E05300000003	確定	2012/02/06 10:39:34	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0057		E05300000002	確定	2012/02/06 10:39:27	平井 花子	鈴木 一郎	心不全
0056		E05300000001	確定	2012/02/06 10:39:21	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男	山田 太郎	出血性ショック
0054			一時	2012/02/02 16:10:48	香山 四女	鈴木 次郎	術後肺炎
0053			一時	2012/02/02 16:10:28	井上 三男	鈴木 次郎	肝不全
0052			一時	2012/02/02 16:11:07	谷藤 二女	鈴木 一郎	胃山門部乳頭状腺癌
0051			一時	2011/12/28 16:12:22	佐藤 一男	山田 太郎	敗血症性ショック

法医学解剖一覧・死体検案一覧印刷
(医師の選択)

指定例概要エクセル出力

期間 平成19年 4月11日 から 平成24年 4月11日 まで

管理者用

(2) 法医解剖一覧・死体検案一覧の印刷

法医学データベースシステムでは法医解剖一覧と死体検案一覧の帳表の印刷が可能です。法医学データベースシステムにログイン後の法医学データベース起動画面より行います。医師の選択を行い、印刷する期間の指定を行った後、「法医解剖一覧印刷」か「死体検案一覧印刷」ボタンをクリックします。

医師の選択をする

期間の指定を行う

法医学データベース起動画面

終了

新規指定入力

新規データ入力画面へ

表示順切り替え

上から最新順 上から古い順

保存されている指定データの呼び出し

保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータを呼び出せます。

(右の検索ボックスにて検索絞り込みができます)

指定番号1	指定番号2	被検者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(ア)直接死因
0059			一時	2012/02/08 10:21:26	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0058	XX99	E99900000001	確定	2012/04/11 16:24:24	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0058	XX99	E05300000003	確定	2012/02/06 10:39:34	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0057		E05300000002	確定	2012/02/06 10:39:27	平井 花子	鈴木 一郎	心不全
0056		E05300000001	確定	2012/02/06 10:39:21	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男	山田 太郎	出血性ショック
0054			一時	2012/02/02 16:10:48	泰山 四女	鈴木 次郎	術後肺炎
0053			一時	2012/02/02 16:10:28	井上 三男	鈴木 次郎	肝不全
0052			一時	2012/02/02 16:11:07	斉藤 二女	鈴木 一郎	胃幽門部乳頭状腺癌
0051			一時	2011/12/28 16:12:42	佐藤 一男	山田 太郎	敗血症性ショック

法医解剖一覧・死体検案一覧印刷 (医師の選択)

山田 太郎

期間 平成19年 4月12日 から 平成24年 4月12日 まで

法医解剖一覧印刷

死体検案一覧印刷

指定例概要エクセル出力

指定例概要のエクセル出力

保存されているデータのエクセル出力

保存されているデータのエクセル出力

管理者

UMDA

過去

設定

どちらかの印刷ボタンを押す

法医解剖一覧または死体検案一覧の対象期間はプログラムでは自動で本日より遡って5年が選択されますが、この期間の範囲を変更できます。

期間のところで直接キーボードで入力することも可能ですし、小さいカレンダーマークをクリックするとカレンダーがポップアップし、これを利用して日付を指定することもできます。

「法医解剖一覧印刷」または「死体検案一覧印刷」ボタンをクリックした後の処理は「4. 入力マニュアル」->「(1) データの入力」->「⑦印刷」を参照ください。

新規鑑定入力

新規データ入力画面へ

保存されている鑑定データの呼び出し

保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータを呼び出せます。

鑑定番号1	鑑定番号2	被験者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(ア)直接死因
0059			一時	2012/02/03 10:21:26	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血あああああああ
0058	XX99	E99900000001	確定	2012/04/11 16:24:24	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0058	XX99	E05300000003	確定	2012/02/06 10:39:34	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0057		E05300000002	確定	2012/02/06 10:39:27	平井 花子	鈴木 一郎	心不全
0056		E05300000001	確定	2012/02/06 10:39:21	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男	山田 太郎	出血性ショック
0054			一時	2012/02/02 16:10:48	香山 四女	鈴木 次郎	術後肺炎
0053			一時	2012/02/02 16:10:28	井上 三男	鈴木 次郎	肝不全
0052			一時	2012/02/02 16:11:07	斎藤 二女	鈴木 一郎	胃幽門部乳頭状腺癌
0051			一時	2011/12/28 16:12:22	佐藤 一男	山田 太郎	敗血症性ショック

2012年4月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

今日: 2012/04/12

法医解剖一覧・死体検案一覧印刷 (医師の選択)

山田 太郎

期間 平成19年 4月12日 から 平成24年 4月12日 まで

法医解剖一覧印刷 死体検案一覧印刷

例概要エクセル出力 定期概要のエクセル出力

保存されているデータのエクセル出力 保存されているデータのエクセル出力

キーボードより直接変更可能

カレンダーを利用して日付の指定が可能

(3) 鑑定例概要のエクセル出力

法医学データベースシステムではシステム内に保存されたデータをマイクロソフト社製エクセルのデータ形式で出力させることができます。

法医学データベースシステムにログイン後の法医学データベース起動画面より操作します。

「鑑定例概要のエクセル出力」のボタンをクリックします。

「鑑定例概要のエクセル出力」ボタンをクリックする

法医学データベース起動画面

終了

新規鑑定入力

表示順切り替え
 上から最新順 上から古い順

保存されている鑑定データの呼び出し
 保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータを呼び出せます。
(右の検索ボックスにて検索絞り込みができます)

鑑定番号1	鑑定番号2	被検者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(ア)直接死因
0059			一時	2012/02/08 10:21:26	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0058	XX99	E99900000001	確定	2012/04/11 16:24:24	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0058	XX99	E05300000003	確定	2012/02/06 10:39:34	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0057		E05300000002	確定	2012/02/06 10:39:27	平井 花子	鈴木 一郎	心不全
0056		E05300000001	確定	2012/02/06 10:39:21	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男	山田 太郎	出血性ショック
0054			一時	2012/02/02 16:10:48	香山 四女	鈴木 次郎	術後肺炎
0053			一時	2012/02/02 16:10:28	井上 三男	鈴木 次郎	肝不全
0052			一時	2012/02/02 16:11:07	斎藤 二女	鈴木 一郎	胃幽門部乳頭状腺癌
0051			一時	2011/12/28 16:12:22	佐藤 一男	山田 太郎	敗血症性ショック

法医学解剖一覧・死体検案一覧印刷
(医師の選択)

鑑定例概要エクセル出力

期間 平成19年 4月12日 から 平成24年 4月12日 まで

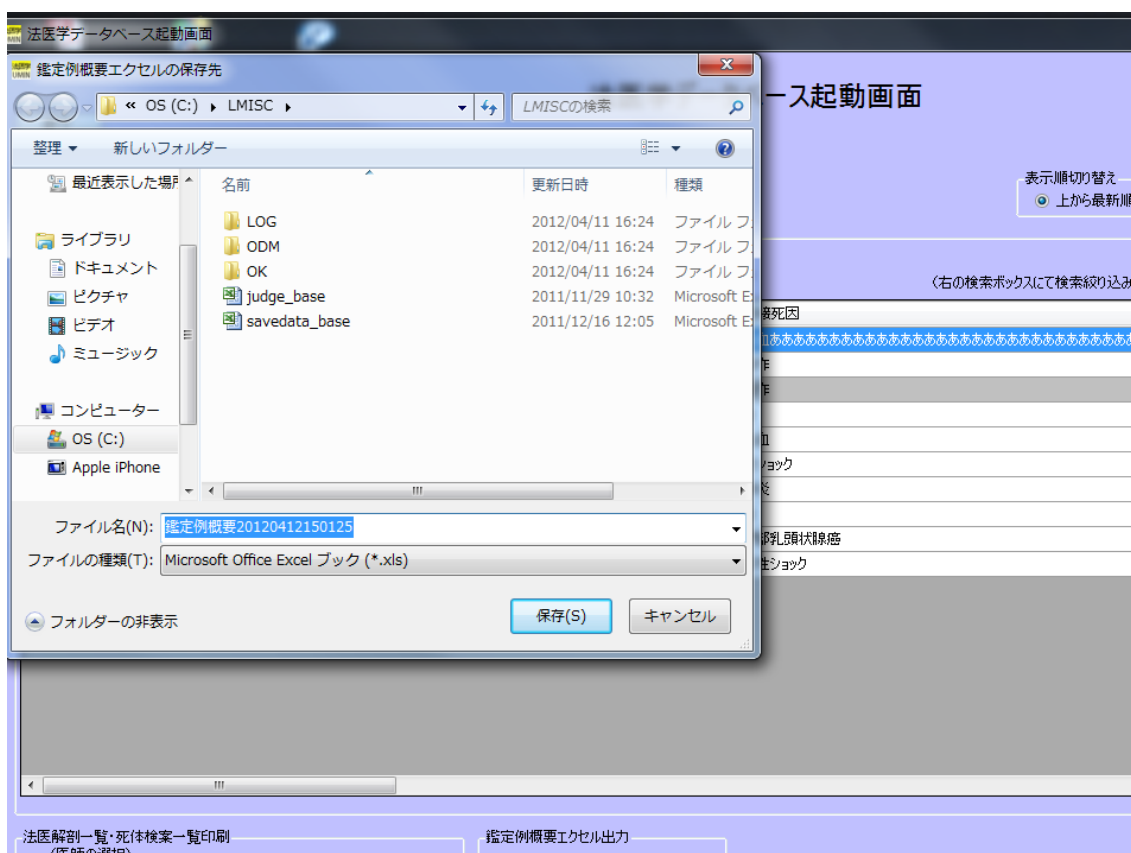
法医学解剖一覧印刷 死体検案一覧印刷

保存されているデータのエクセル出力

管理者

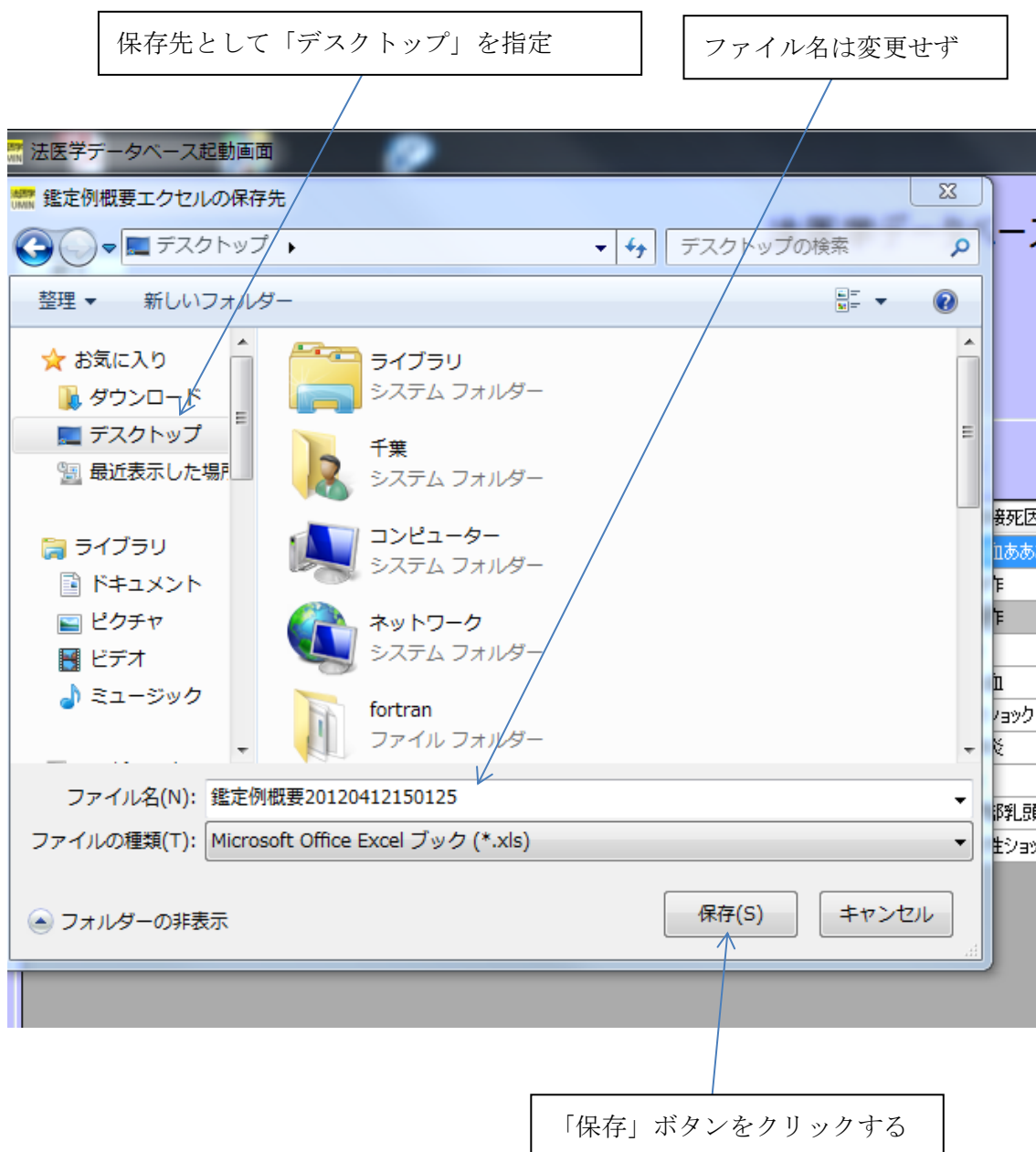
ファイルの保存場所を指定するウインドウが開きますのでファイルを保存したい場所及びファイル名を指定します。

ファイル名は鑑定例概要の後ろに作成された年月日時秒が付いた形のファイル名が自動で与えられます。下記の例では 2012 年 4 月 12 日午後 3 時 1 分 25 秒に作成されたファイルの例です。



下記の例では保存先としてデスクトップ、ファイル名は変更なしで保存する場合の例です。

「保存」ボタンをクリックします。



鑑定例概要のエクセルデータが作成され、保存が成功すると下記の確認画面が表示されます。

「OK」ボタンをクリックしてください。

確認後「OK」ボタンをクリックする

法医学データベース起動画面

終了

新規鑑定入力

表示順切り替え
 上から最新順 上から古い順(最新は下へ表示される)

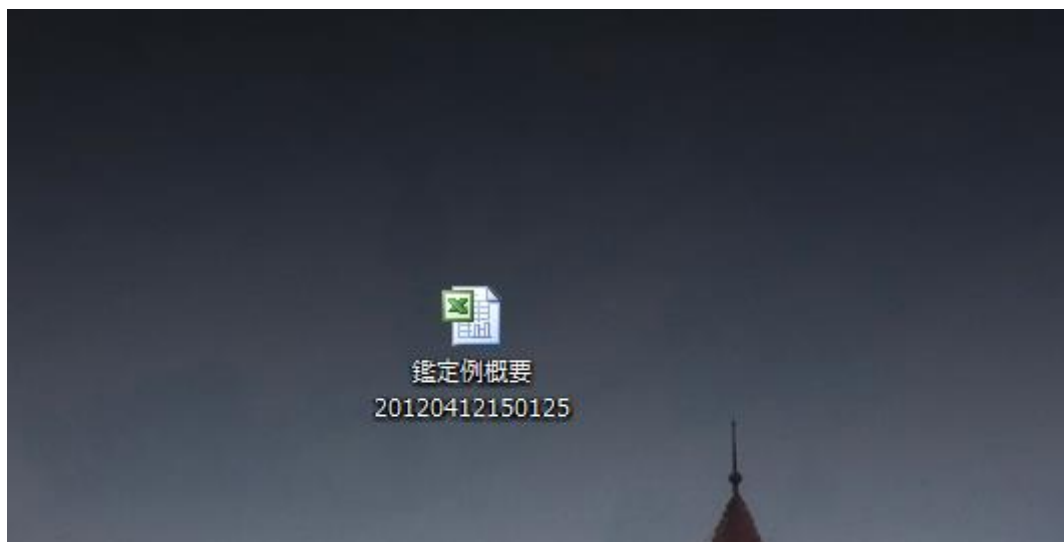
保存されている鑑定データの呼び出し

保存されているデータの一覧です。下記一覧のデータをクリックするとその過去のデータを呼び出せます。
(右の検索ボックスにて検索絞り込みが可能です)

指定番号1	指定番号2	被検者番号	保存種類	保存時刻	氏名	医師名	(A)直接死因
0059			一時	2012/02/09 10:21:26	田中 太郎	鈴木 次郎	脳内出血
0058	XX99	E99900000001	確定	2012/04/11 16:24:24	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0058	XX99	E05300000003	確定	2012/02/06 10:39:34	京都 ハナコ	鈴木 次郎	心臓発作
0057		E05300000002	確定	2012/02/06 10:39:27	平井 花子	鈴木 一郎	心不全
0056		E05300000001	確定	2012/02/06 10:39:21	田中 太郎	LMISC	
0055			一時	2012/02/02 16:11:32	加藤 五男		
0054			一時	2012/02/02 16:10:40	青山 四女		
0053			一時	2012/02/02 16:10:28	井上 三男		
0052			一時	2012/02/02 16:11:07	斎藤 二女		
0051			一時	2011/12/28 16:12:22	佐藤 一男		

エクセルの作成保存をしました。

鑑定例概要のエクセルデータがデスクトップに保存されました。



鑑定例概要のエクセルの例です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	分類	機関番号	事例番号	月	年齢一日	年齢一年	性別	死因	死因コード	補助コード	死因の種類	死亡までの時間	死後の経過時
	検案	999	0058	1	11ヶ月9ヶ日	0歳 (推定)	女	呼吸静脈動脈心臓発作	C380 A188 G08	W07		1時間	15日
2	検案	999	0058	1	11ヶ月9ヶ日	0歳 (推定)	女	呼吸静脈動脈心臓発作	C380 A188 G08	W07		1時間	15日

(4) データのバックアップ

パソコンに不具合が発生した時のために保存されている鑑定データのバックアップを取るよう to してください。

バックアップは法医学データベースシステムがインストールされているパソコンごとに行って頂く必要があります。

バックアップのデータは CD-R や USB メモリに保存してください。

バックアップの保存頻度は鑑定データの入力される頻度によりますが、1 週間に 1 度程度を目安にされると良いでしょう。なお、鑑定データが全く入力や変更が無い週のバックアップ作業は省いて頂いて結構です。

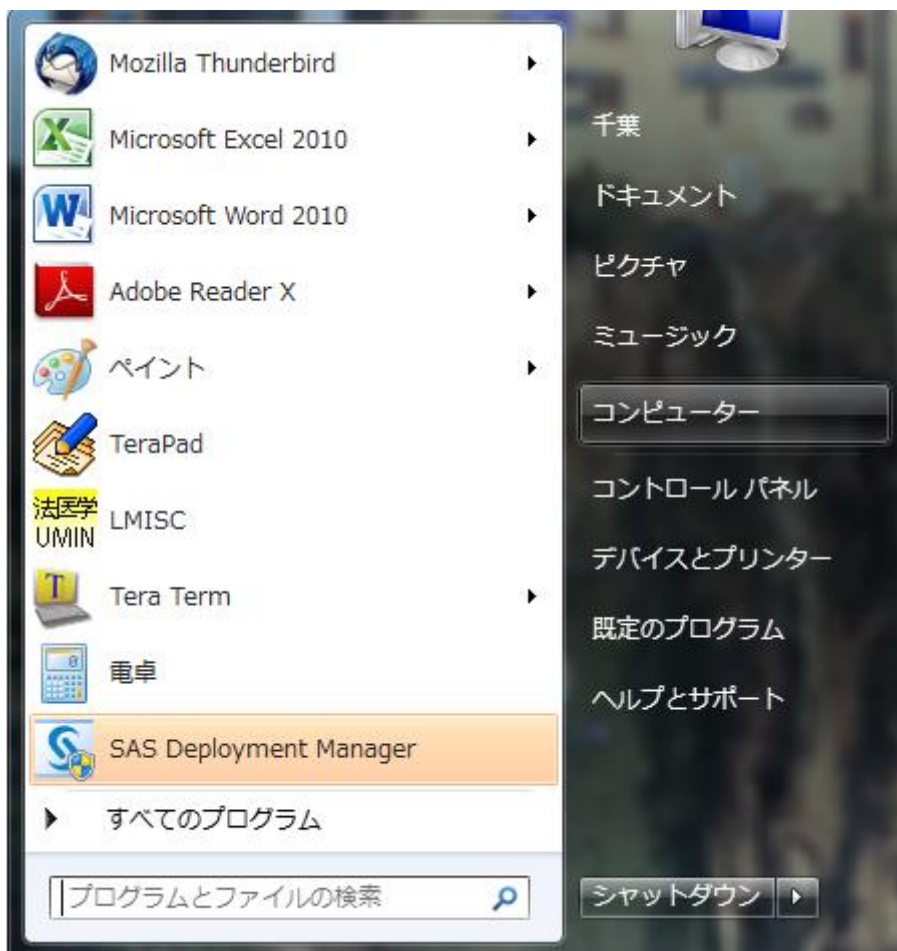
下記では、USB メモリにバックアップを行う手順を説明します。

USB メモリは予めパソコンに挿しておいて下さい。

次にウインドウの左下の「スタートボタン」をクリックして「コンピューター」を選択します。

(下図は「コンピューター」を選択した状態)

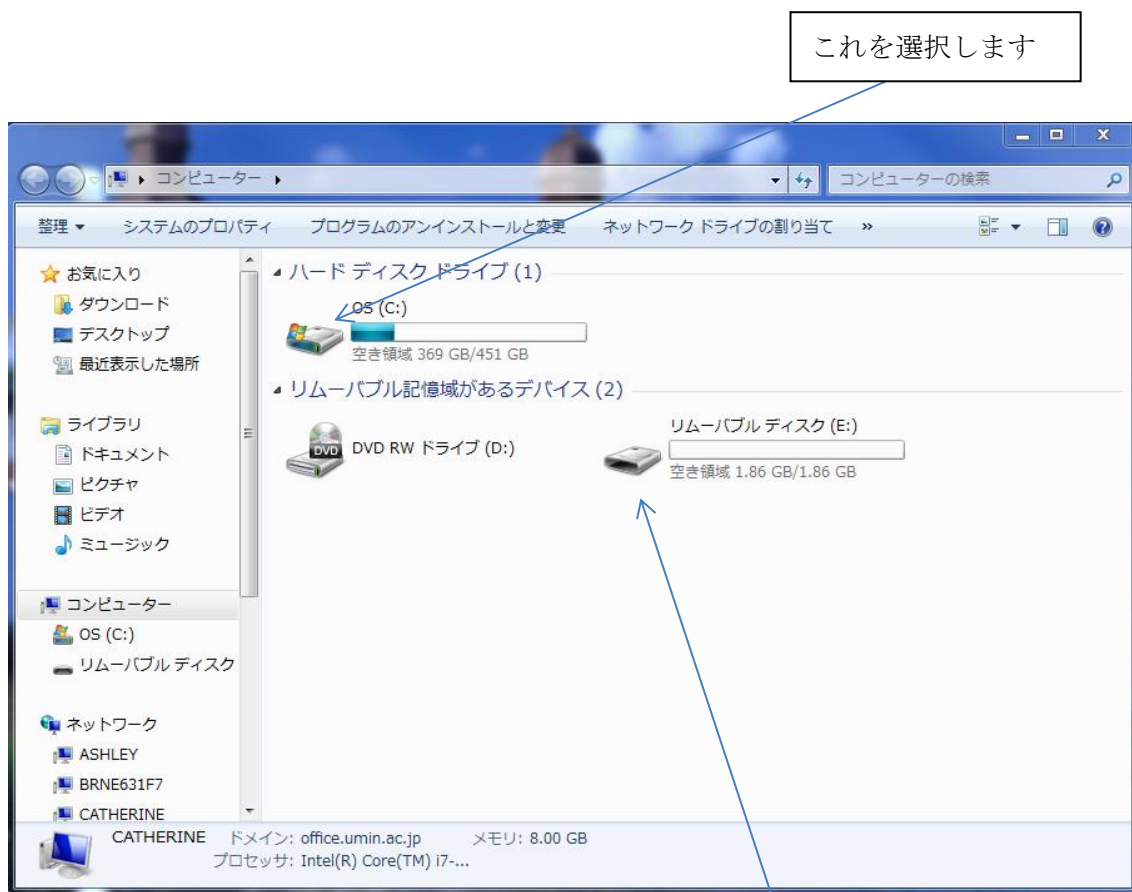
なおご利用のシステムによって表示は異なります。



下記の様なウインドウが表示されます。

OS (C:) をマウスでダブルクリックします。

※表示はお使いのシステムによって異なる場合があります。



これを選択します

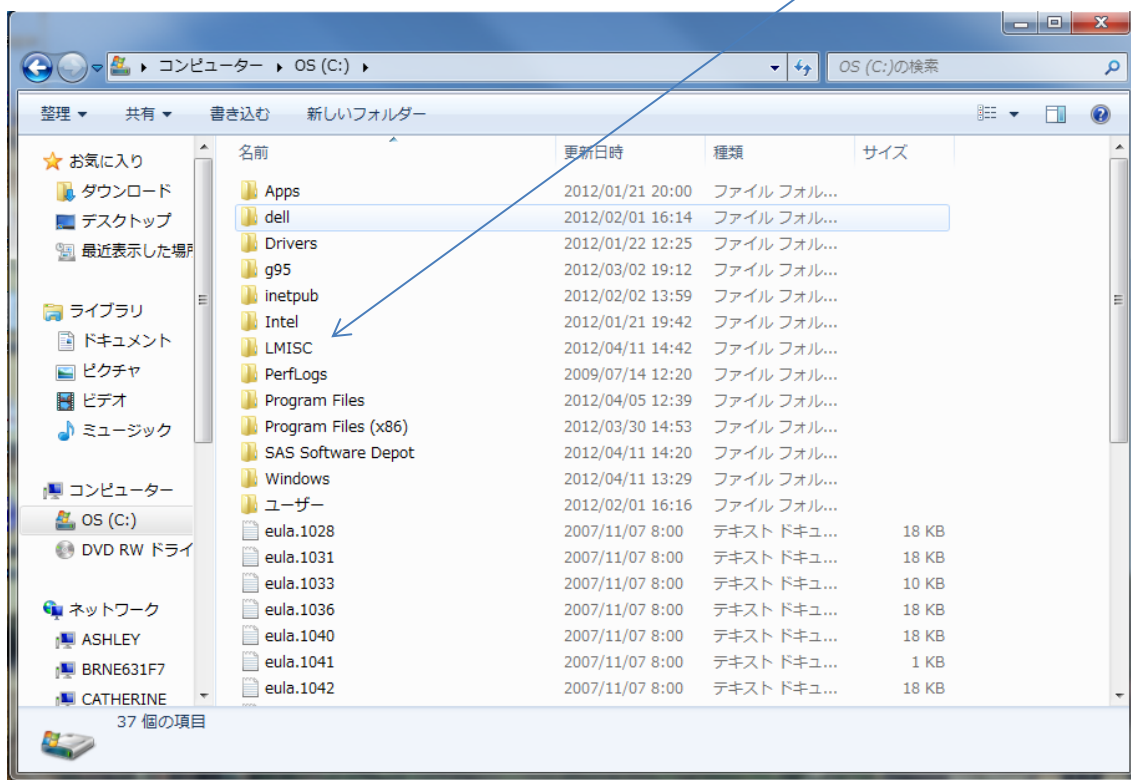
USB メモリがパソコンに挿入されています。この例ではドライブ「E:」になっています。

下記の様な画面が表示されます。

「LMISC」フォルダーをダブルクリックします。

※お使いのシステムによって画面は異なります。

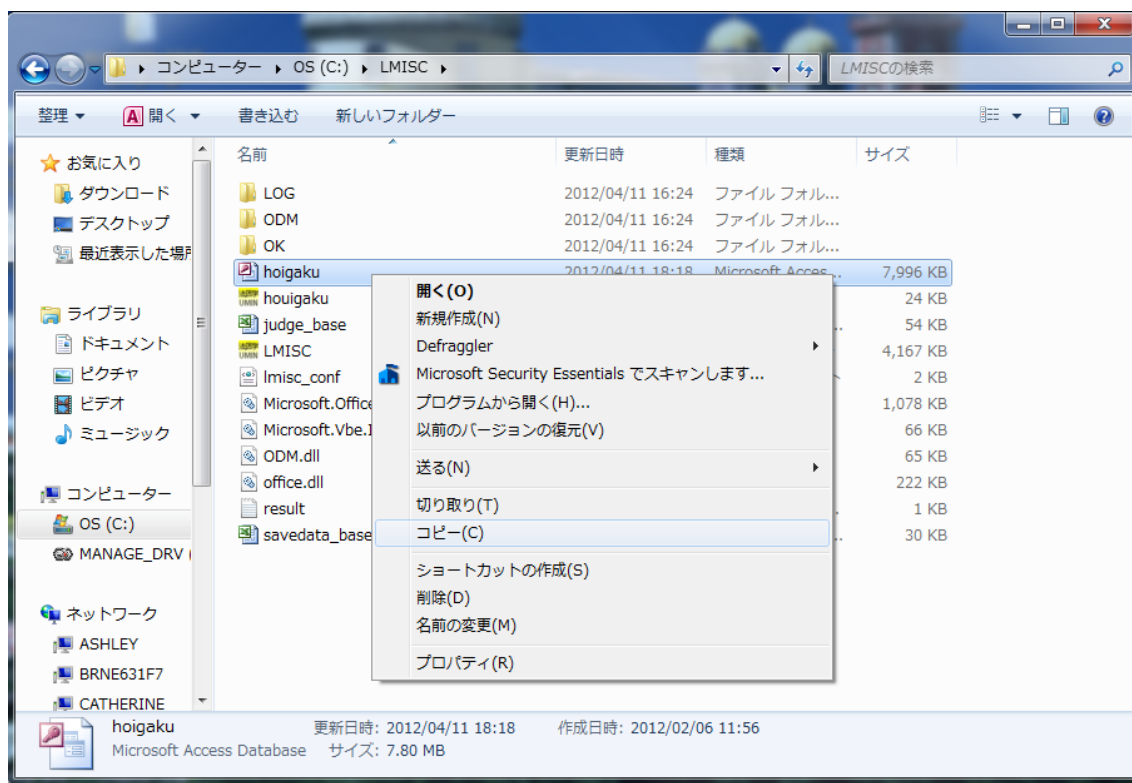
「LMISC」フォルダーをダブルクリックする



下記の様なウインドウが表示されます。

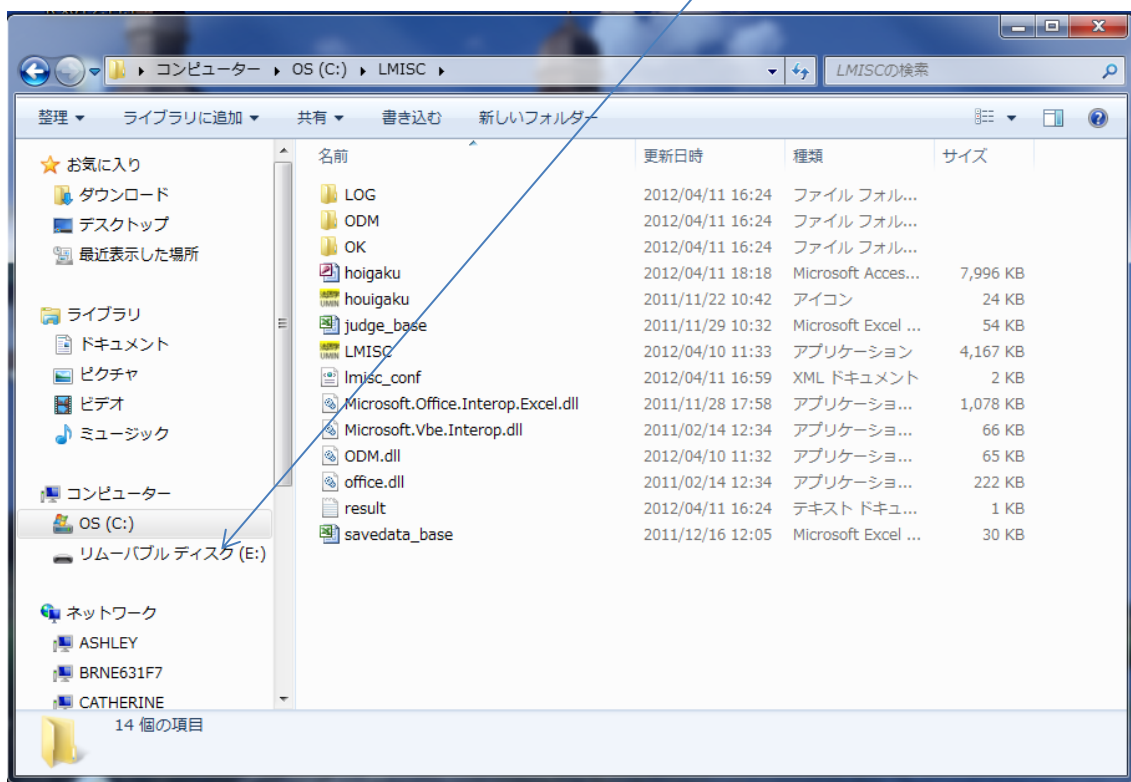
ここで、赤いアイコンの「hoigaku」をマウスの左クリックで選択しそのままマウスの右ボタンを押すと下記の様なメニューが表示されます。

このメニューから「コピー」を選択します。(マウスで「コピー」を左クリックします)

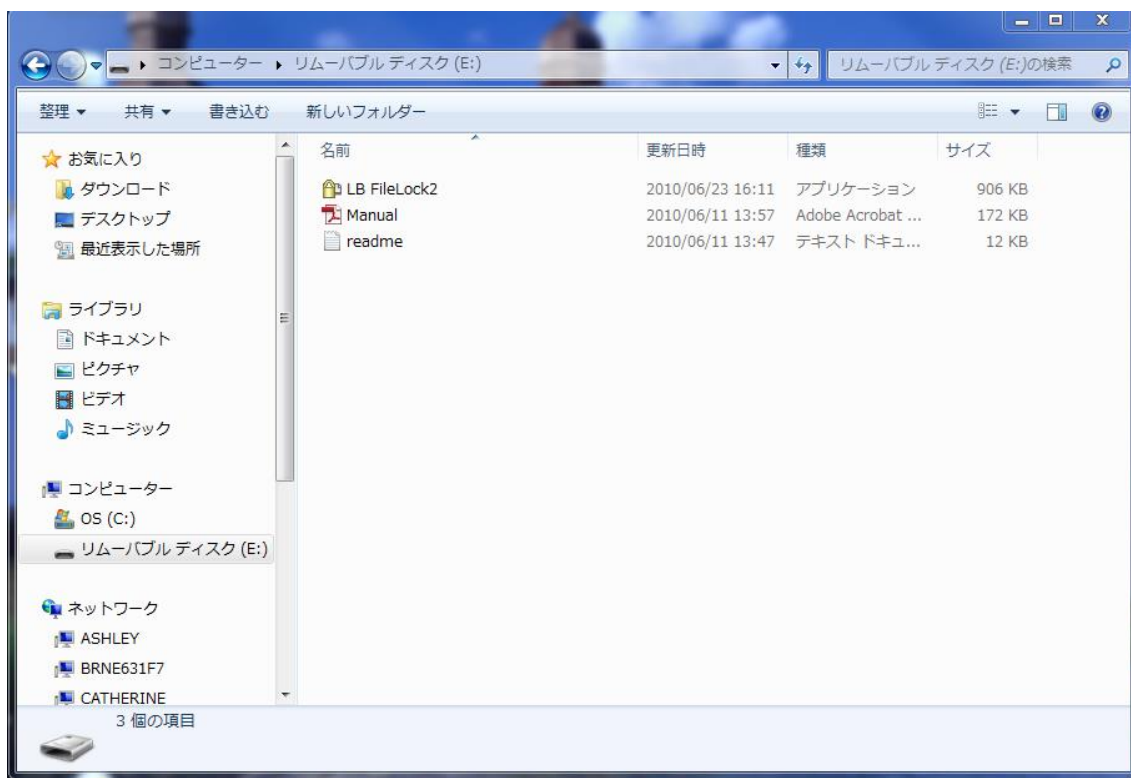


次に USB メモリのドライブをクリックします。

USB メモリをクリックします(この例ではドライブ「E:」になっています)



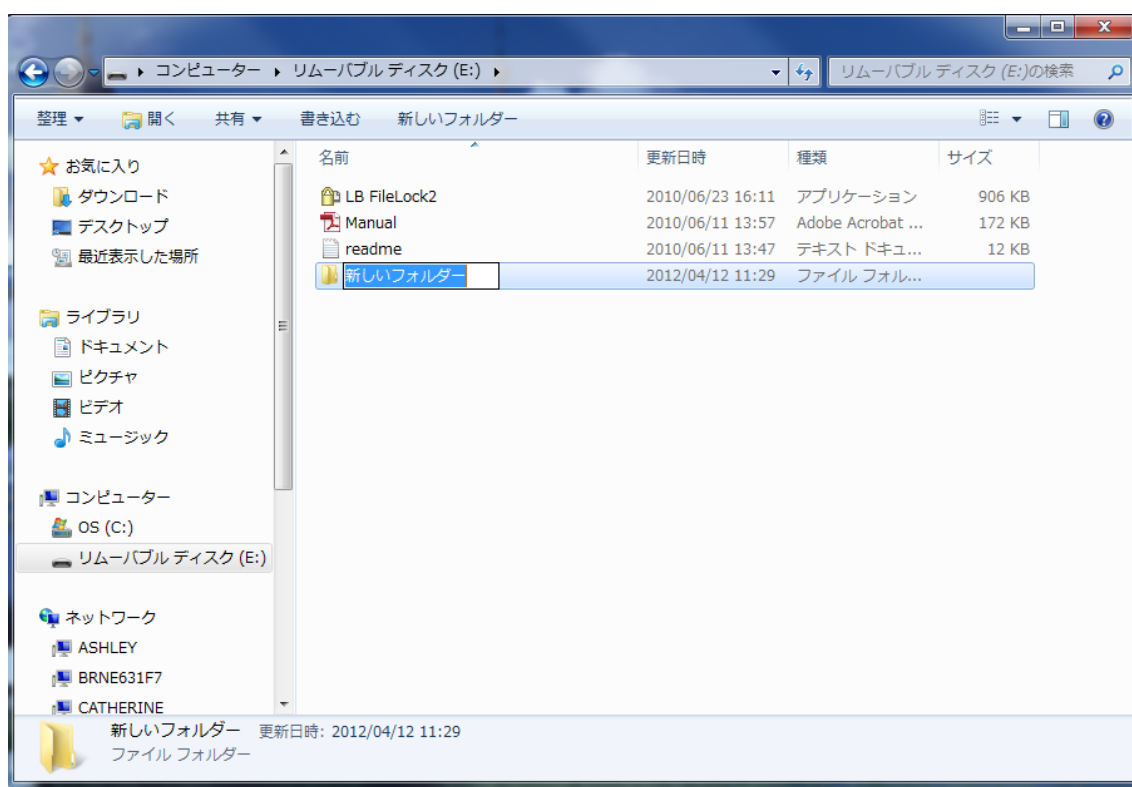
USB メモリの内容が見えます。お使いの USB メモリによって表示内容は異なります。



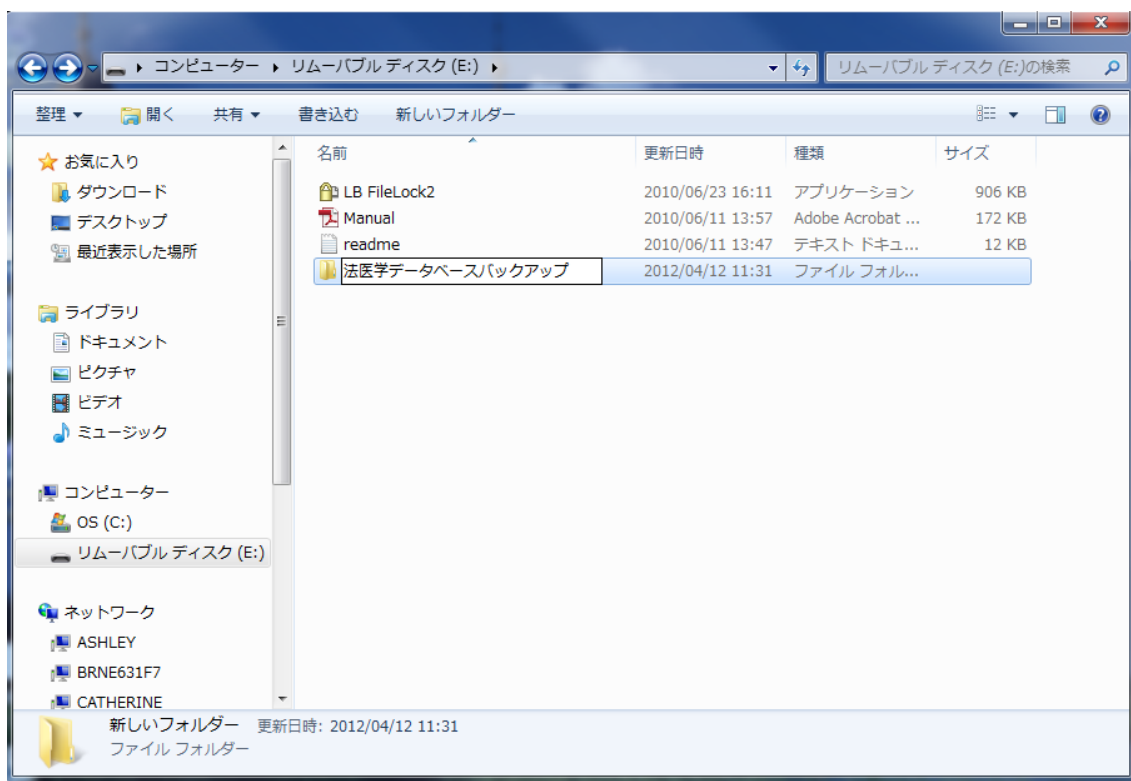
バックアップ用フォルダーの作成はまだフォルダーを作成していない場合のみ必要です。
既にフォルダーが作成済の場合はバックアップ用フォルダーに移動して下さい。(以降の例では「法医学データベースバックアップ」に移動する)

下記のウインドウ内にマウスカーソルをあててマウスの右ボタンを押してメニューを表示させ「新規作成」->「フォルダー」を選択します。

新規フォルダーが作成されますのでフォルダー名を「法医学データベースバックアップ」とします。

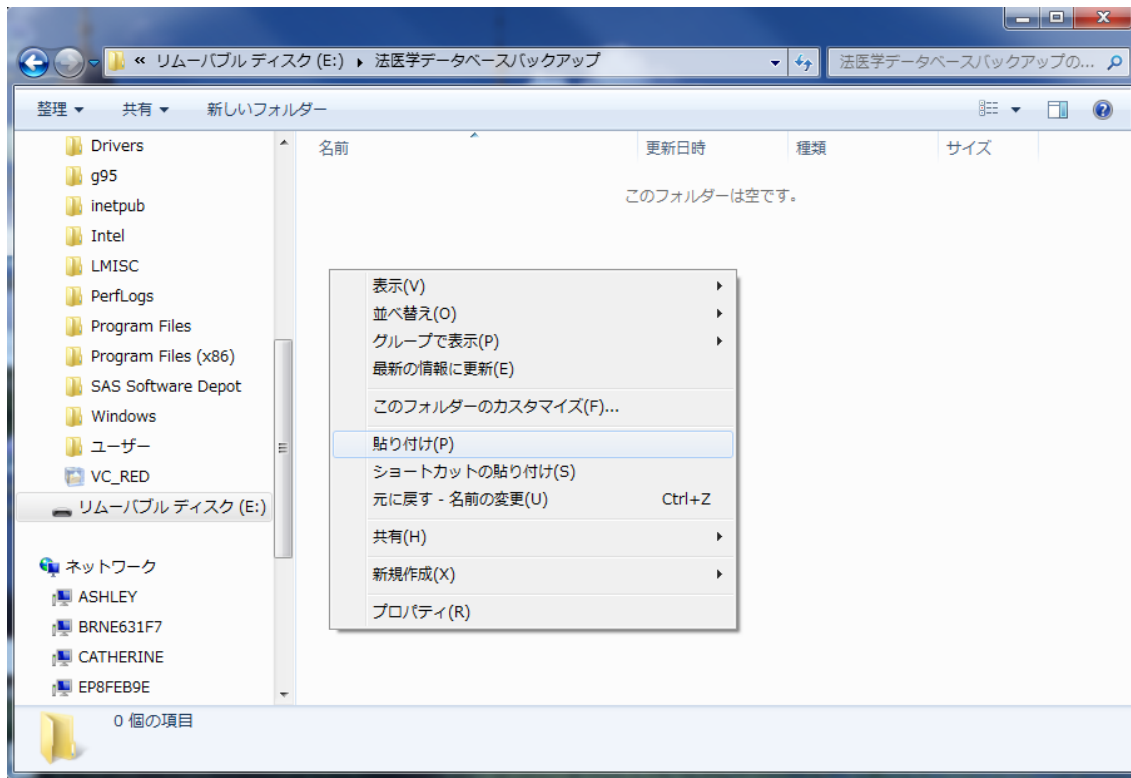


下記の様にフォルダー「法医学データベースバックアップ」とします。

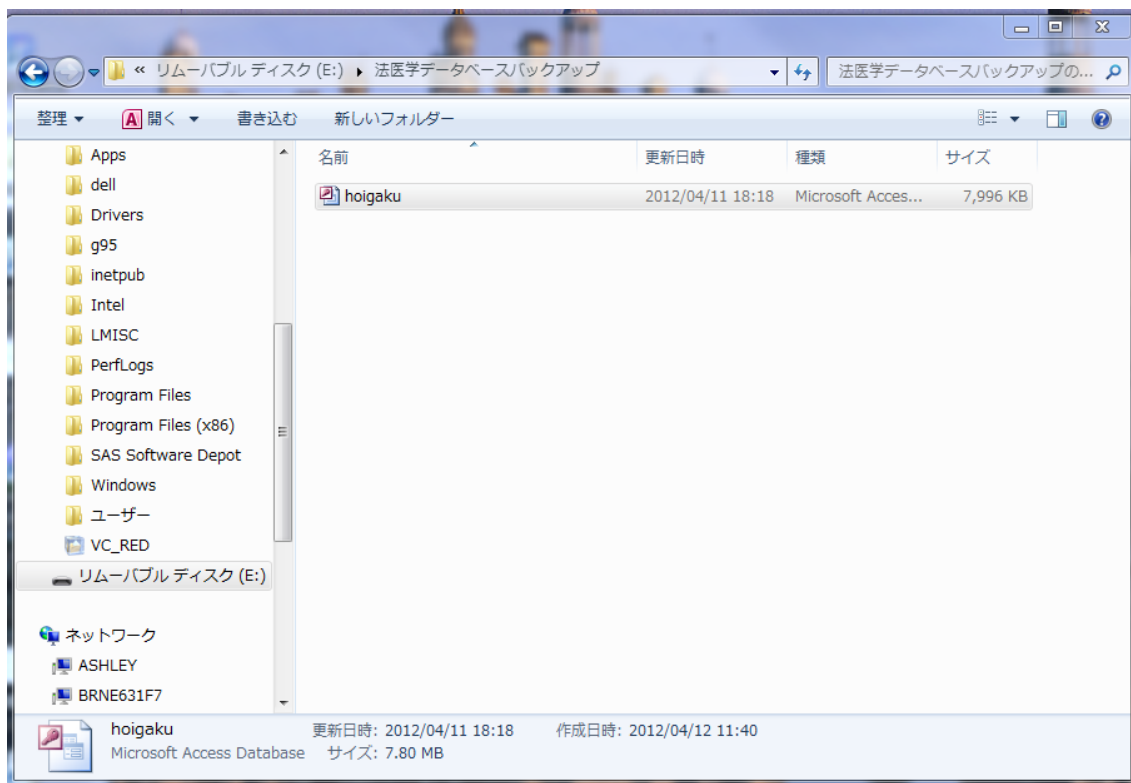


フォルダー「法医学データベースシステム」をクリックし移動します。

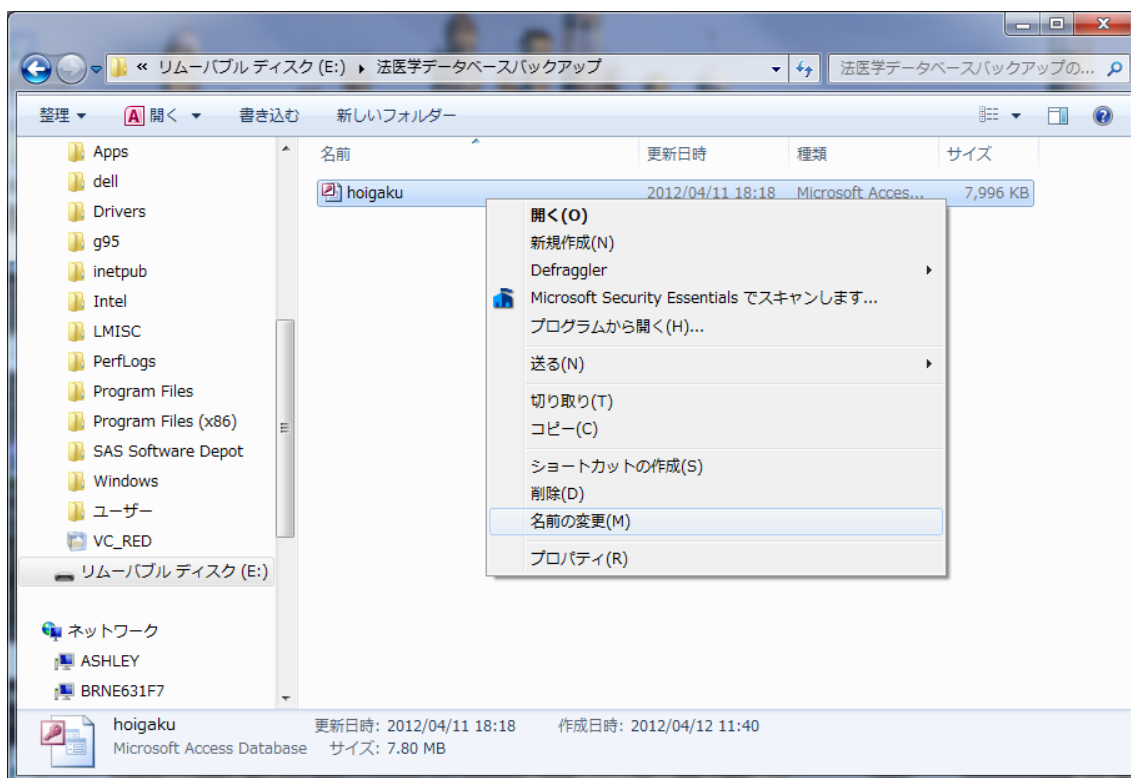
ウインドウ内でマウスの右ボタンを押すとメニューが表示されますので「貼り付け」を選択します。



ファイル「hoigaku」がコピーされました。

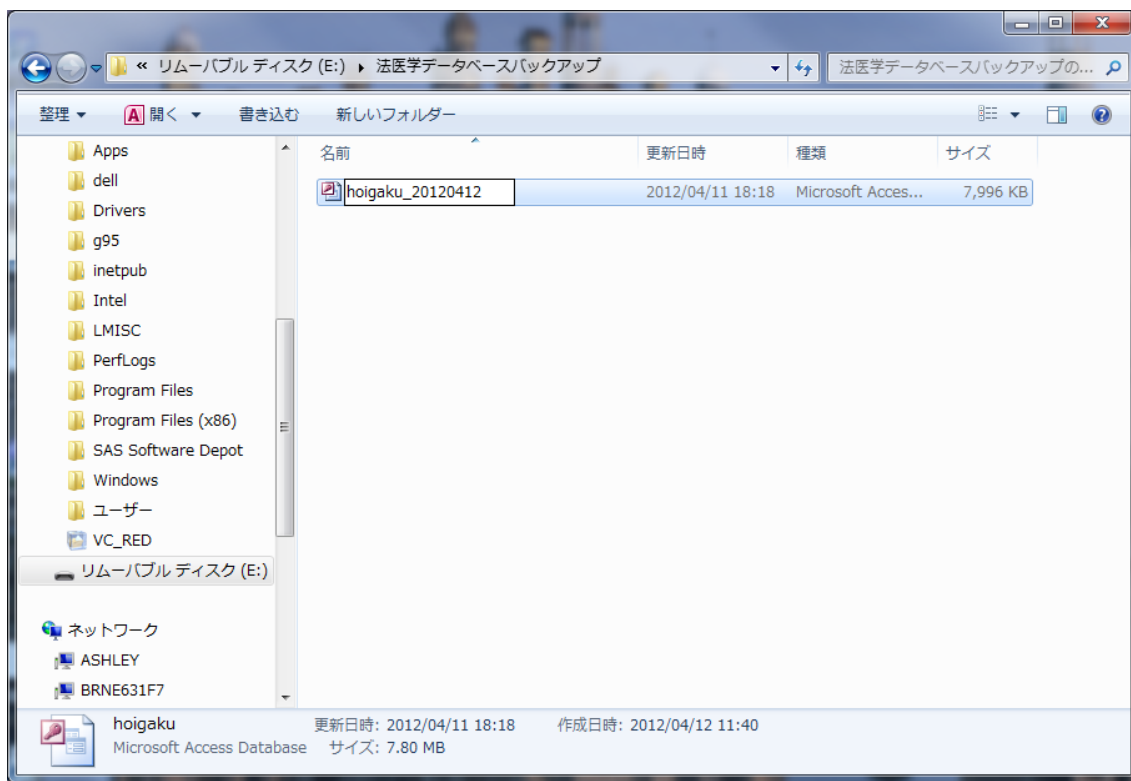


今コピーした「hoigaku」ファイルにマウスカーソルをあててマウスの右ボタンを押してメニューを表示させ「名前の変更」を選択します。



いつ保存したデータか分かるように日付などを追加したファイル名にします。

下記の例では2012年4月12日のデータとしてファイル名を「hoigaku_20120412」としました。



ファイル名を変更したらウインドウを閉じてUSBメモリを抜きます。USBメモリを抜くときにはお使いのパソコンのWindowsのUSBメモリの取り外しの手順に従ってください。

以上でバックアップ作業は終了です。

(5) UMIN センター側のデータ確認

法医学データベースシステムでは鑑定データをシステム内に保存するとともに、データを UMIN センター INDICE システムに送ることにより自動的に全国集計用匿名化データベースが構築されます。

INDICE にログインすることによって収集されたデータを確認することが出来ます。

INDICE にログインすると、お使いの UMIN ID の所属する施設（法医学教室）から収集されたデータを確認することが出来ます。

UMIN センター INDICE を利用するには法医学データベースシステムは必要なく、Web ブラウザからご利用いただけます。

下記の URL をお使いのブラウザに入力してください。

「https://c.umin.ac.jp/cgi-bin/cdms_sample/index?ctl=adm&proj_id=P00193」

ここに「https://c.umin.ac.jp/cgi-bin/cdms_sample/index?ctl=adm&proj_id=P00193」と入力する



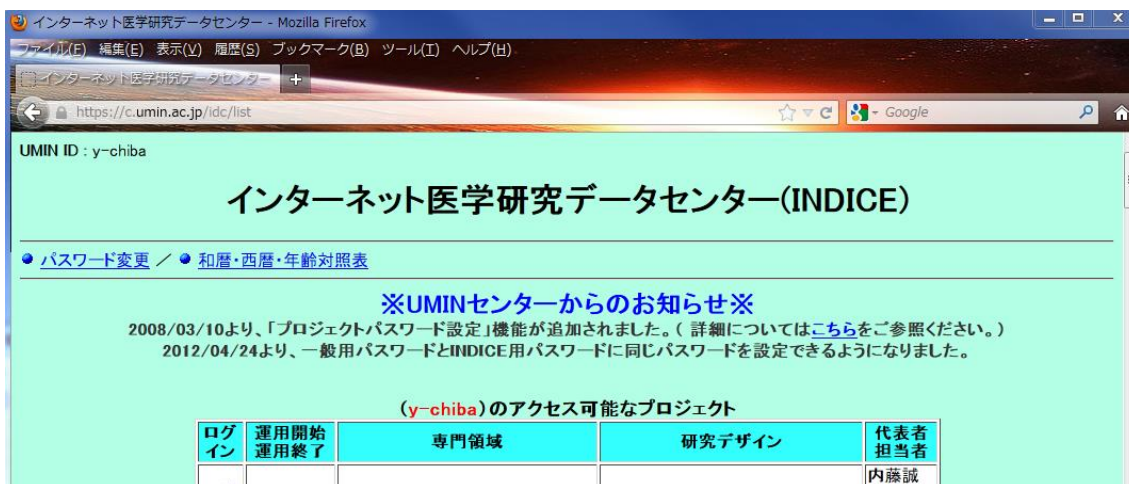
URLを入力後、下記の様な画面になります。(画面の表示はお使いの UMIN ID によって異なります)

UMIN ID により表示が異なるのは次によるものです。

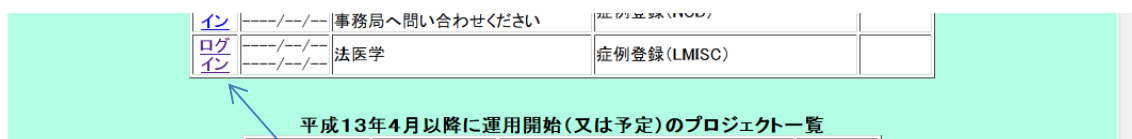
ログイン時に UMIN INDICE システムで参加中のプロジェクトが全部表示されます。参加中のプロジェクトが法医学データベースシステム一つの場合、法医学データベースシステムのみが表示されることとなります。参加中のプロジェクトが複数の場合は複数となりますので画面表示が異なります。

(1) 所属施設の登録データの確認

下記の「法医学 症例登録 (LMISC)」の「ログイン」部分をクリックして下さい。



(この部分は、お使いの UMIN ID により表示が異なります。)



専門領域が法医学 (症例登録 (LMISC)) の「ログイン」をクリックする。

—次の画面になります。

—「~~症例登録一覧~~」をクリックします。

LMISC
法医学鑑定情報データベース (CDISC用)
Legal Medicine Information System for CDISC

UMIN ID:y-chiba / 施設名:UMINセンター / Authority:Administrator

[UMINからの重要なお案内]
電子メールの転送設定について [\[詳細\]](#)

症例登録システム

メニュー	
データ登録	新規データの登録は、このメニューで行います
登録症例一覧	現在までに登録されているデータの参照と更新
お困りの時	お問合せの前にご覧ください (問合せ先等)
パスワード変更	現在使用しているパスワードの変更操作画面

— [管理者メニュー]は各施設の登録者へは表示されません。 —

管理者メニュー	
登録症例一覧(全症例)	現在までに登録されている全症例データの参照と更新

UMINインターネット医学研究データセンター	
一般公開用ホームページ	ご利用のご案内と運用プロジェクト一覧
登録者用ホームページ	運用プロジェクトの詳細 ※一般サービス用パスワードを入力してください

お使いの UMIN ID が一般ユーザー権限の場合は表示されません

—お使いの UMIN ID が法医学データベースシステムに「一般ユーザー権限」か「管理者権限」で登録されているかにより表示が異なります。「一般ユーザー権限」の場合、自身の所属施設 (法医学教室) 登録分のデータを開覧する部分のみが表示されます。「管理者権限」の場合、自身の所属施設登録分の開覧と、全施設からの登録データを検索・開覧する部分が表示されます。これらにより表示される画面が異なります。

所属施設の登録症例一覧表示の画面例です。

お使いの UMIN ID の所属組織の登録データ一覧が表示されます。

登録されているデータを確認するには「鑑定例番号1」を確認し、対応する「UMIN 登録番号」をクリックします。

「UMIN 登録番号」をクリックする

[【メニューに戻る】](#)

LMISC / 法医学データベース登録一覧

UMIN ID:y-chiba / 施設名:UMINセンター / Authority:Administrator

● 登録データの修正を行う場合は、対象症例の **被験者ID** をクリックしてください。

情報取得日: 2012/08/29 15:49:40

施設内での登録データの症例数

6

	UMIN登録番号	法医学教室名	鑑定番号1	鑑定番号2	生年月	死亡年月日	検案年月日	新規登録日 最終更新日	新規登録者 最終更新者
1	E0000001	UMINセンター	0056	----	1955/11	2011/01/20	2011/12/28	2012/08/15 2012/08/15	k-kitajima k-kitajima
2	E0000002	UMINセンター	0090	----	1948/01	2011/10/10	2012/08/23	2012/08/15 2012/08/23	k-kitajima y-chiba
3	E0000003	UMINセンター	009911	----	1948/01	2011/10/10	2012/08/23	2012/08/23 ----	y-chiba ----
4	E0000004	UMINセンター	5555	XX99	2011/02	2012/01/10	2012/08/23	2012/08/23 ----	k-kitajima ----
5	E0000006	京都大学法医学講座	0057	----	1948/01	2011/10/10	2011/12/28	2012/08/24 ----	y-chiba ----
6	E0000007	UMINセンター	0061	XX99	----	2012/01/10	2012/04/25	2012/08/24 ----	y-chiba ----

表示した症例のデータをCSV形式でダウンロードする

[メニューに戻る](#)

~~登録データ一覧から選択すると登録されている個別のデータが表示されます。
これにより登録されているデータを確認することが出来ます。~~

LMISC / 法医学データベースフォーム
UMIN ID: y-chiba / 施設名: UMINセンター / Authority: Administrator

被験者ID	E01900000010	法医学教室名	東京大学法医学教室		
鑑定番号1	11249	鑑定番号2		鑑定種類	<input checked="" type="radio"/> 司法 <input type="radio"/> 行政 <input type="radio"/> 承諾 <input type="radio"/> 検案 <input type="radio"/> その他
性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女 <input type="radio"/> 不詳	生年月日	<input type="radio"/> 不詳 年月日 1967/09/19	時間	00:00:00
死亡したとき	<input checked="" type="checkbox"/> 不詳	死亡年月日	年月日 2012/03/01	時間	03:46:00
死亡したところの種別	<input checked="" type="radio"/> 1.病院 <input type="radio"/> 2.診療所 <input type="radio"/> 3.介護老人保健施設 <input type="radio"/> 4.助産所 <input type="radio"/> 5.老人ホーム <input type="radio"/> 6.自宅 <input type="radio"/> 7.その他				
死亡したところ	東京都品川区旗の台1-5-8				<input type="radio"/> 発見
(死亡したところの種別が1-5の場合) 施設名称	昭和大学病院				
I	(ア)直接死因	急性硬膜下血腫、脳挫傷、脳も膜下出血			(ア)発病(発症)または受傷から死亡までの期間
	(イ)(ア)の原因	てんかん			
	(ウ)(イ)の原因				
	(エ)(ウ)の原因				
	直接死因には関係				

(2) 全施設の登録データの確認

自身の登録施設のデータだけではなく全施設の登録データを確認するには、下記をクリックします。なお、~~全施設のデータを確認するにはお使いの UMIN ID が法医学データベースシステムに対して「管理者」として登録されている必要があります。お使いの UMIN ID が「一般ユーザー」として登録されている場合は管理者メニューそのものが表示されないため全施設の登録データの閲覧はできません。~~

「登録症例一覧（全施設）」をクリックする

LMISC

法医学鑑定情報データベース (CDISC用)
Legal Medicine Information System for CDISC

UMIN ID:y-chiba / 施設名:UMINセンター / Authority:Administrator

[UMINからの重要なご案内]
電子メールの転送設定について [\[詳細\]](#)

症例登録システム

メニュー	
データ登録	新規データの登録は、このメニューで行います
登録症例一覧	現在までに登録されているデータの参照と更新
お困りの時	お問合せの前にご覧ください（問合せ先等）
パスワード変更	現在使用しているパスワードの変更操作画面

管理者メニュー

登録症例一覧(全症例)	現在までに登録されている全症例データの参照と更新
-----------------------------	--------------------------

UMINインターネット医学研究データセンター

一般公開用ホームページ	ご利用のご案内と運用プロジェクト一覧
登録者用ホームページ	運用プロジェクトの詳細 ※一般サービス用パスワードを入力してください

お使いの UMIN ID が一般ユーザー権限の場合は「管理者メニュー」自体が表示されません

下記の様な検索画面になります。

絞り込む条件、例えば鑑定種類を「司法」などとして絞り込み検索ができます。

選択項目を何も指定せず「検索する」を押すと登録されている全データが表示されます。

[【メニューに戻る】](#)

LMISC / 法医学登録データ検索(管理者用)

UMIN ID:y-chiba / 施設名:UMINセンター / Authority:Administrator

- 特に条件を指定しない場合は、現在登録されているデータが全て表示されます。
- 条件とする項目を指定し、**【検索する】**をクリックしてください。

検索対象	条件	備考
鑑定種類	<input type="radio"/> 司法 <input type="radio"/> 行政 <input type="radio"/> 承諾 <input type="radio"/> 検案 <input type="radio"/> その他	
死因の種類	<input type="radio"/> 1:病死及び自然死 <input type="radio"/> 2:交通事故 <input type="radio"/> 3:転倒・転落 <input type="radio"/> 4:溺水 <input type="radio"/> 5:煙、火災及び火焰による傷害 <input type="radio"/> 6:窒息 <input type="radio"/> 7:中毒 <input type="radio"/> 8:その他 <input type="radio"/> 9:自殺 <input type="radio"/> 10:他殺 <input type="radio"/> 11:その他及び不詳の外因 <input type="radio"/> 12:不詳の死	
法医学教室名	<input style="width: 80%;" type="text"/>	
オプション		
ページ分割	100件毎表示 ▼	1画面に表示する件数を変更できます

必要に応じて指定する

「検索する」を押す

全施設の登録症例一覧表示の画面例です。

検索などにより絞り込まれた条件に合致する登録データの一覧が表示されます。

検索条件を何も指定せず検索すると登録されている全施設の全データが表示されます。

登録されているデータを確認するには「鑑定例番号1」を確認し、対応する「UMIN 登録番号」をクリックします。

「UMIN 登録番号」をクリックする

LMISC / 法医学データベース登録一覧

【メニューに戻る】

UMIN ID:y-chiba / 施設名:UMINセンター / Authority:Administrator

● 登録データの修正を行う場合は、対象症例の **被験者ID** をクリックしてください。

施設内での登録データの症例数

情報取得日: 2012/08/29 15:49:40

6

UMIN登録番号	法医学教室名	鑑定番号1	鑑定番号2	生年月	死亡年月日	検案年月日	新規登録日 最終更新日	新規登録者 最終更新者
E0000001	UMINセンター	0056	----	1955/11	2011/01/20	2011/12/28	2012/08/15 2012/08/15	k-kitajima k-kitajima
E0000002	UMINセンター	0090	----	1948/01	2011/10/10	2012/08/23	2012/08/15 2012/08/23	k-kitajima y-chiba
E0000003	UMINセンター	009911	----	1948/01	2011/10/10	2012/08/23	2012/08/23 ----	y-chiba ----
E0000004	UMINセンター	5555	XX99	2011/02	2012/01/10	2012/08/23	2012/08/23 ----	k-kitajima ----
E0000006	京都大学法医学講座	0057	----	1948/01	2011/10/10	2011/12/28	2012/08/24 ----	y-chiba ----
E0000007	UMINセンター	0061	XX99	----	2012/01/10	2012/04/25	2012/08/24 ----	y-chiba ----

表示した症例のデータをCSV形式でダウンロードする

メニューに戻る

登録データ一覧から選択すると登録されている個別のデータが表示されます。
 これにより登録されているデータを確認することが出来ます。

The screenshot shows a web browser window with the following content:

Browser: Mozilla Firefox
 URL: https://c.umin.ac.jp/idctest/input_ms?proj_id=P00187&ctl=adm&org=H999-001&act=inp&form_id=f

LMISC / 法医学データベースフォーム

UMIN ID: y-chiba / 施設名: UMINセンター / Authority: Administrator

被験者ID	E01900000010	法医学教室名	東京大学法医学教室		
鑑定番号1	11249	鑑定番号2		鑑定種類	<input checked="" type="radio"/> 司法 <input type="radio"/> 承諾 <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 行政 <input type="radio"/> 検案
性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女 <input type="radio"/> 不詳	生年月日	<input type="radio"/> 不詳 年月日: 1967/09/19 時間: 00:00:00		
死亡したとき	<input checked="" type="checkbox"/> 不詳	死亡年月日	年月日: 2012/03/01 時間: 03:46:00 頃上旬等:	推定伝聞等	
死亡したところの種別	<input checked="" type="radio"/> 1.病院 <input type="radio"/> 2.診療所 <input type="radio"/> 3.介護老人保健施設 <input type="radio"/> 4.助産所 <input type="radio"/> 5.老人ホーム <input type="radio"/> 6.自宅 <input type="radio"/> 7.その他				
死亡したところ	東京都品川区旗の台1-5-8				<input type="radio"/> 発見
(死亡したところの種別が1-5の場合) 施設名称	昭和大学病院				
I	(ア)直接死因	急性硬膜下血腫、脳挫傷、脳も膜下出血			(ア)発病(発症)または受傷から死亡までの期間
	(イ)(ア)の原因	てんかん			
	(ウ)(イ)の原因				
	(エ)(ウ)の原因				
	直接死因には関係				發時間
					不詳

5. 帳表印刷サンプル

(1) 死体検案書のサンプル

死亡診断書 (死体検案書)			
この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。			
氏名	京都 ハナコ	1男 2女	生年月日 明治 昭和 23年2月1日 大正 平成 (生まれたから30日以内に死亡したとき) (生まれた時刻も書いてください) 午前 午後 1時34分
死亡したとき	平成 24年 1月 10日	午前 午後 4時05分頃	(推定)
(12) 死亡したところ	①病院 2診療所 3介護老人保護施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他		
(13) 及びその種別	死亡したところ ベッド 施設の種類(1~5) 施設の名称 ○○産婦人科		
(14) 死亡の原因	(ア) 直接死因	心臓発作	発病(発症)又は受傷から 1ヶ月
	(イ) (ア)の原因	動脈	死亡までの期間 7日
	(ウ) (イ)の原因	静脈	5日
	(エ) (ウ)の原因	呼吸	3ヶ月
	II 直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等	心肺停止	2日
手術	1無 2有	部位及び主要所見 ○○手術を実施。	手術年月日 平成 昭和 23年7月12日
解剖	1無 2有	主要所見 解剖の結果、○○○となった。	
(15) 死因の種類	①病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 { 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焰による傷害 } 6窒息 7中毒 8その他 その他及び不詳の外因死 { 9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因 } 12 不詳の死		
(16) 追加事項	傷害が発生したとき 平成 昭和 23年6月30日 午前(午後) 1時23分頃	傷害が発生したところ 京都 都道府県 京都 左京 町村	手段及び状況 ○○な状況で、○○の手段をした。
(17) 追加事項	出生児体重 2790 グラム	単胎・多胎の別 1単胎 2多胎 (2子中第1子)	妊娠週数 満45週
(18) 追加事項	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状 1無 2有 痛み	母の生年月日 3不詳 昭和 平成 60年10月21日	前回までの妊娠結果 出生児 0人 死産児 1胎 (妊娠満22週以降に限る)
(19) 重 症	上記のとおり診断(検案)する 診断(検案)年月日 平成24年1月25日 本診断書(検案書)発行年月日 平成24年1月25日 京都府左京区吉田近衛町 UMINセンター (氏名) 医師 鈴木 次郎 印		

記入の注意
 生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。
 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

傷病名等は、日本語で書いてください。
 I欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。
 産後4日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後満何日」と書いてください。

I欄及びII欄に關係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。
 紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。
 「5煙、火災及び火焰による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういふ状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等を参考に書いてください。

(2) 法医解剖一覧のサンプル

法医解剖一覧

No.	年月	施設名	部検番号	年齢	性	死因	種別	鑑定書作成の有無
1	平成23年12月28日	〇〇病院	0055	0	男	出血性ショック	その他	
2	平成23年12月28日	京都大学付属病院	0051	40	男	敗血症性ショック	司法	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

氏名 山田 太郎

6. 変更履歴

LMISC_Ver1.0.0	2012年02月17日	初版リリース
LMISC_Ver1.0.1	2012年03月15日	起動時画面サイズ自動調整化
LMISC_Ver1.0.2	2012年03月16日	一部 OS にてタスクバーが隠れる件 対応
LMISC_Ver1.0.3	2012年03月19日	一部 OS にてタスクバーが隠れる件 対応方法変更
LMISC_Ver1.0.4	2012年03月21日	インストーラー改良
LMISC_Ver1.0.5	2012年03月23日	OS の差に起因する書込み権限差の 対応
LMISC_Ver1.0.6	2012年04月03日	傷害が発生したところの住所調整
LMISC_Ver1.0.7	2012年04月10日	帳表印刷の調整
LMISC_Ver1.0.8	2012年04月19日	UMIN センターへ送付の 日付データ形式変更
LMISC_Ver1.0.9	2012年04月26日	ユニークキー変更
LMISC_Ver1.0.10	2012年08月17日	「死亡したとき」印刷時日時対応
LMISC_Ver1.0.11	2012年08月24日	保存データの再送信不具合対応
LMISC_Ver1.0.12	2012年09月05日	鑑定番号の入力桁オーバーチェック 処理追加及び UMIN ID 一般系 パスワード説明図改良
LMISC_Ver1.0.13	2012年10月16日	システム設定データ保存改良
LMISC_SAMPLEVer1.0.0	2013年04月09日	初版リリース
LMISC_SAMPLEVer1.0.1	2013年10月21日	不要なページを削除